



神奈川県

厚木保健福祉事務所

平成 24 年度

厚木保健福祉事務所年報

- 2 0 1 2 -

は　じ　め　に

平素より私ども厚木保健福祉事務所の事業推進に御理解、御協力いただき、心より感謝申し上げます。

県では、「いのち輝くマグネット神奈川」を実現し、すべての県民の皆様が健やかに安心してくらす社会の実現に向けて、医療のあるべき姿、課題解決の方向性を示すため、平成 24 年 5 月に本県の医療施策推進の基本理念となる「神奈川県医療のグランドデザイン」を策定いたしました。

また、これを受けて、本県の総合的な保健医療施策を示す計画として、平成 25 年度から 29 年度までの 5 年間の計画期間とする、「神奈川県保健医療計画」(第 6 次計画)を平成 25 年 3 月に策定し推進しているところです。

この計画の策定に合わせ、県央二次保健医療圏における保健医療施策の取組みの方向性を示すものとして、「県央地域保健医療推進指針」を作成し、重点課題として、救急医療対策の推進や健康危機から住民を守る対策の推進、青壮年期における健康づくり、地域における疾患ごとの医療連携などを掲げております。

このような中であって、厚木保健福祉事務所では、社会状況の変化に対応しながら、管内の保健・医療・福祉サービスの充実を図るため、市町村、医療機関、保健・医療・福祉関係機関等と連携しながら、様々な取組みを実施しています。

平成 24 年度の大きな取組みとしては、25 年度から市町村へ権限委譲される未熟児訪問指導業務などについて、事業の円滑な移譲と管内母子保健の質の維持を図れるよう、市町村と緊密に連携して、調整を進めたことが挙げられます。

そのほかの主要な施策の取組みとしては、病院の廃止等により救急医療資源が不足している地域の広域化による救急輪番体制の構築や、働く方々への健康づくりとして生活習慣病予防出前健康講座の実施、歯と口腔の健康づくりを地域に普及する 8020 運動の普及、生活保護世帯の子どもとその家族に対する支援の強化と不正受給対策の強化、食肉の生食等による食中毒予防対策など、広く公衆衛生に関する業務を進めているところです。

また、「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例」の施行から 3 年が経過し、制度の定着が見られつつありますが、引き続き、規制対象事業者に対する指導や県民への周知・啓発などを行っているところです。

本書は、平成 24 年度の当所における事業実績を網羅的に記録として取りまとめたものですので、市町村や保健・医療・福祉関係機関、住民の方々にご活用いただき、地域における公衆衛生活動や福祉活動の一助となれば幸いです。

平成 25 年 12 月

神奈川県厚木保健福祉事務所長 深澤 博史

目 次

第1章 概 要

- 1 地域の概況 1
 - (1) 管内略図 1
 - (2) 管内人口及び世帯数等 2
 - (3) 人口動態総覧 2
 - (4) 医療関係施設 2
 - (5) その他施設 2
- 2 保健福祉事務所の概況 3
 - (1) 厚木保健福祉事務所の組織 3
 - (2) 職種別職員配置状況 4
 - (3) 平成24年度決算 5

第2章 健康な地域づくりの推進

- 1 生涯健康対策の充実 6
 - (1) 禁煙・受動喫煙対策 6
 - (2) 母子保健対策 9
 - (3) がん予防対策 20
 - (4) 食生活の対策 21
 - (5) 歯科保健対策 29
 - (6) 救急法普及啓発事業 35
- 2 感染症・結核対策の充実 36
 - (1) 感染症対策会議 36
 - (2) 結核予防事業 36
 - (3) 感染症予防事業 43
 - (4) 性感染症予防 45
 - (5) エイズ予防事業 46
 - (6) 肝臓疾患対策事業 47
- 3 メンタルヘルス対策の充実 48
 - (1) 精神保健福祉事業 48
- 4 認知症疾患対策の充実 55
 - (1) 認知症疾患対策保健所事業 55
- 5 難治性の疾患対策の充実 57
 - (1) 難病患者地域ネットワーク支援事業 57
 - (2) 難病患者等居宅生活支援事業 58
 - (3) 特定疾患医療援護 59
 - (4) 先天性血液凝固因子障害医療給付 60
- 6 原爆被爆者健康管理及び福祉対策事業 61
 - (1) 被爆者健康手帳等交付状況 61
 - (2) 被爆者健康診断受診状況 61
- 7 石綿による健康被害の救済支援事業 62
 - (1) 相談対応状況 62
 - (2) 申請状況 62
- 8 地域保健師業務連絡会議等実施状況 63
 - (1) 地域保健師業務連絡会議総会 63
 - (2) 管内保健師研究会 63
 - (3) 管内中堅期保健師研修 63
 - (4) 代表幹事会 63
- 9 保健師業務 64
 - (1) 家庭訪問 64

- (2) 所内指導 64
- (3) 家庭訪問以外の保健活動 64
- 10 保健福祉サービス連携調整会議 65

第3章 健康で快適な生活環境の確保

- 1 食品保健対策の充実 66
 - (1) 食品関係営業施設の監視指導 66
 - (2) 営業施設数の推移 68
 - (3) 食品・器具等の収去検査 69
 - (4) 違反食品等の発見等 69
 - (5) 違反施設 70
 - (6) 食中毒予防啓発及び食中毒発生状況 70
 - (7) 食品衛生講習会 70
 - (8) 苦情処理 71
 - (9) 免許取扱い数 71
- 2 環境保健対策の充実 72
 - (1) 生活衛生指導事業 72
 - (2) 水浴場等対策事業 74
 - (3) 温泉指導監督事業 75
 - (4) 動物保護等対策事業 75
 - (5) 水道指導事業 76
- 3 医薬品等安全対策の充実 77
 - (1) 薬事指導監督事業 77
 - (2) 毒物・劇物指導監督事業 78
 - (3) 麻薬指導監督事業 78
 - (4) 薬物乱用防止対策事業 79

第4章 健やかで安心した生活を支える福祉の推進

- 1 福祉事業の普及・支援 80
 - (1) 地域福祉の事業 80
 - (2) 福祉の貸付事業 83
- 2 福祉事業の推進 84
 - (1) 生活保護 84
 - (2) 障害児者福祉 86
 - (3) 児童福祉 87
 - (4) 女性保護 87
 - (5) 母子寡婦福祉 88

第5章 保健・医療・福祉基盤づくりと連携

- 1 保健医療福祉計画の推進 89
 - (1) 県央地区保健医療福祉推進会議 89
 - (2) 地域医療対策 89
 - (3) 地域・職域連携 90
 - (4) 医療と介護の連携 91
- 2 保健医療福祉の基盤づくり 92
 - (1) 保健衛生研修 92
 - (2) 保健福祉事務所実習指導 92
 - (3) 衛生、福祉統計・報告 93

(4) 広報活動	93
(5) 市町村への支援状況	94
3 適正な保健・医療・福祉等の確保	95
(1) 医務	95
(2) 病院・診療所定期立入検査	95
(3) 医療関係相談	97
(4) 介護保険	98
(5) 免許取扱い数	100
(6) 献血	100
(7) 表彰	101
4 健康危機管理対策	103
(1) 鳥インフルエンザ対策	103

第6章 資料

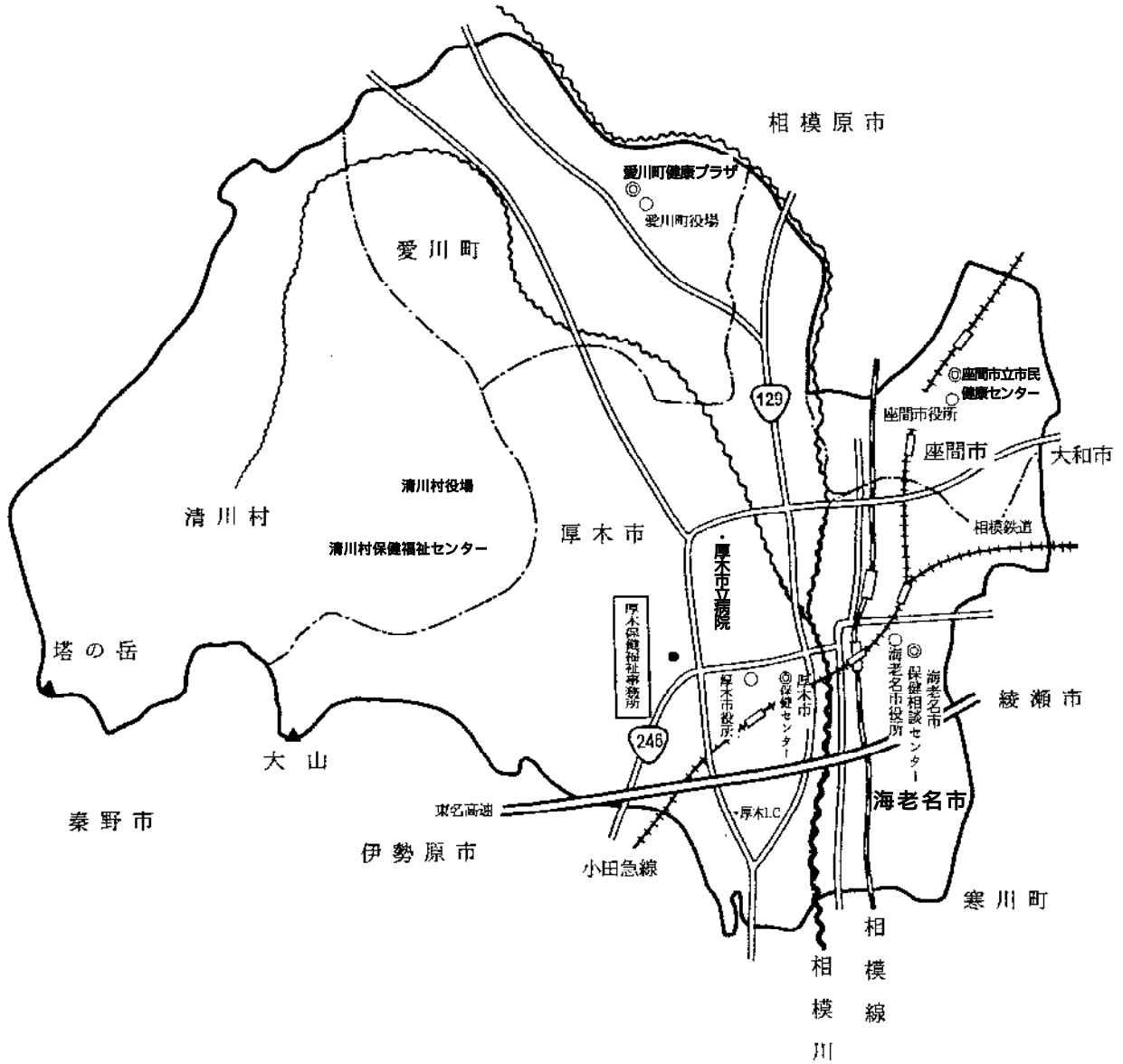
1 保健福祉事務所の沿革	104
(1) 沿革	104
(2) 厚木保健福祉事務所歴代所長	106
(3) 施設の状況	106
2 各種協議会委員一覧	107
(1) 県央地区保健医療福祉推進会議委員名簿	107
(2) 厚木・大和保健福祉事務所感染症診査協議会結核部会委員名簿	107
(3) 厚木・大和保健福祉事務所感染症診査協議会感染症部会委員名簿	108
(4) 神奈川県介護保険審査会介護認定審査部会（第3部会）委員名簿	108
3 地域保健推進特別事業	108
4 職員の研究・学会等発表	108

第1章 概 要

1 地域の概況	1
2 保健福祉事務所の概況	3

1 地域の概況

(1) 管内略図(平成25年12月現在)



(2) 管内人口及び世帯数等

(平成 25 年 4 月 1 日現在)

区分	面積 (k m ²)	世帯数	人 口			人口密度 (人/k m ²)	1世帯当たり 人口(人)
			総数(人)	男(人)	女(人)		
厚木市	93.83	94,366	224,415	116,666	107,749	2,392	2.38
海老名市	26.48	51,835	128,531	64,668	63,863	4,854	2.48
座間市	17.58	55,353	129,807	65,472	64,335	7,384	2.35
愛川町	34.29	16,276	41,174	21,434	19,740	1,201	2.53
清川村	71.29	1,175	3,317	1,740	1,577	47	2.82
合 計	243.47	219,005	527,244	269,980	257,264	2,166	2.41

神奈川県人口統計調査結果「神奈川県の人口と世帯」(統計センター)より

(3) 人口動態総覧

(平成 23 年)

	出生数	死亡数	乳児 死亡数	新生児 死亡数	死産数	周産期 死亡数	婚姻数	離婚数
厚木市	1,750	1,555	5	3	36	7	1,158	481
海老名市	1,133	830	5	4	21	9	704	235
座間市	1,069	969	2	2	25	7	676	260
愛川町	276	402	0	0	11	2	188	86
清川村	16	32	0	0	1	0	13	11
合 計	4,244	3,788	12	9	94	25	2,739	1,073

(4) 医療関係施設

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

区 分		総数	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村
医療施設 等	病 院	22	12	5	3	1	1
	一 般 診 療 所	314	148	83	62	19	2
	歯 科 診 療 所	235	107	58	55	14	1
	助 産 所	11	6	4		1	
薬事施設	歯 科 技 工 所	84	47	17	13	6	1
	薬 局	161	79	37	35	10	
施術所	医 薬 品 販 売 業	175	110	28	28	9	
	あんま・はり・きゅう	429	177	107	114	27	4
	柔 道 整 復	100	42	29	26	3	

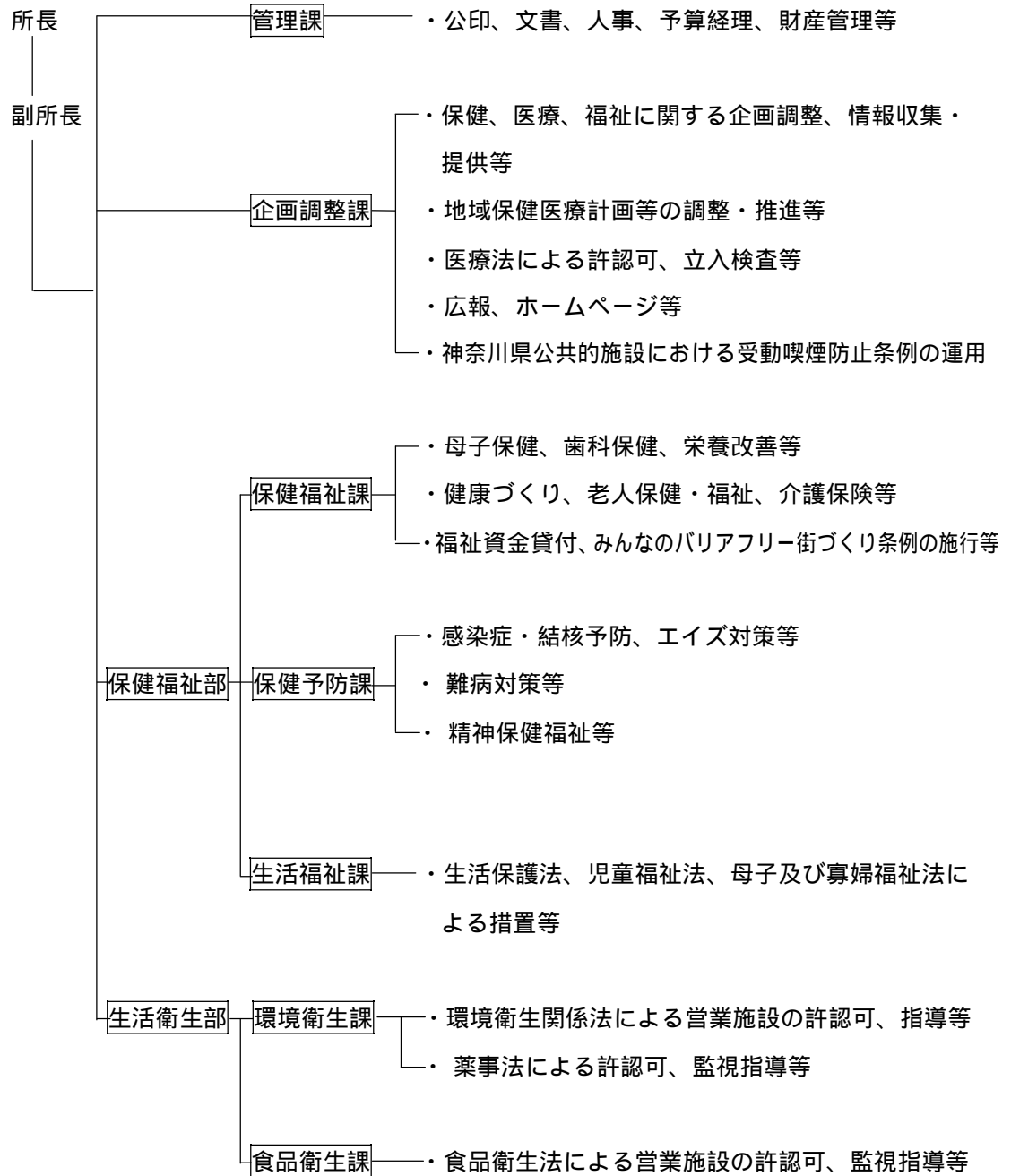
(5) その他施設

(平成 25 年 4 月 1 日現在)

区 分		総 数	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村
児童福祉 施設	保 育 所	公 立	26	6	5	9	6
		私 立	36	16	10	9	1

2 保健福祉事務所の概況

(1) 厚木保健福祉事務所の組織



(2) 職種別職員配置状況

平成 25 年 3 月 31 日現在

	一 般 事 務 職	福 祉 職	医 師	歯 科 医 師	診 療 X 線 職	歯 科 衛 生 士	栄 養 士	保 健 師	狂 犬 病 予 防 員	衛 生 監 視 員	自 動 車 運 転 職	そ の 他	計	備考
所 長			1										1	
副 所 長	1												1	
部 長				1						1			2	
管 理 課	(2) 5										(2) 1		(4) 6	
企画調整課	(5) 5							2					(5) 7	
保健福祉課	(3) 6	1				(1) 1	3	7					(4) 19	
保健予防課	2	2	(5) 3		(2) 1			7				(1)	(8) 15	
生活福祉課		8	(2)									(5)	(7) 8	
環境衛生課									1	(1) 6			(1) 7	
食品衛生課										10			10	
合 計	(10) 19	11	(7) 4	1	(2) 1	(1) 1	3	16	1	(1) 17	(2) 1	(6) 1	(29) 76	

() は非常勤で外数

(3) 平成 24 年度決算

ア 収入状況

科 目 \ 年 度	平成24年度(円)	平成23年度(円)	比較増減(円)
分担金及び負担金	4,352,084	6,770,509	2,418,425
使用料及び手数料	28,982,690	27,008,530	1,974,160
諸 収 入	3,172,047	5,878,567	2,706,520
(雑 入)	(3,172,047)	(5,878,567)	(2,706,520)
合 計	36,506,821	39,657,606	3,150,785

イ 支出状況

(ア) 一般会計

科 目 \ 年 度	平成24年度(円)	平成23年度(円)	比較増減(円)
総 務 費	42,270,591	49,219,630	6,949,039
(総 務 管 理 費)	(42,270,591)	(49,219,630)	(6,949,039)
民 生 費	556,345,668	512,734,611	43,611,057
(社 会 福 祉 費)	(66,095,763)	(65,837,880)	(257,883)
(児 童 福 祉 費)	(7,302,934)	(2,858,408)	(4,444,526)
(障 害 福 祉 費)	(10,395,542)	(9,058,680)	(1,336,862)
(老 人 福 祉 費)	(783,279)	(1,180,138)	(396,859)
(生 活 保 護 費)	(471,768,150)	(433,799,505)	(37,968,645)
衛 生 費	26,042,202	28,745,759	2,703,557
(公 衆 衛 生 費)	(9,659,565)	(12,911,092)	(3,251,527)
(環 境 衛 生 費)	(758,252)	(628,943)	(129,309)
(保 健 所 費)	(14,440,058)	(14,303,704)	(136,354)
(医 薬 費)	(1,184,327)	(902,020)	(282,307)
労 働 費	1,084,232	2,899,040	1,814,808
(雇 用 対 策 費)	(1,084,232)	(2,899,040)	(1,814,808)
県 民 費	4,014,693	3,822,445	192,248
(県 民 費)	(4,014,693)	(3,822,445)	(192,248)
合 計	629,757,386	597,421,485	32,335,901

(イ) 特別会計

科 目 \ 年 度	平成24年度(円)	平成23年度(円)	比較増減(円)
母子寡婦福祉資金	6,000	3,760	2,240

第2章

健康な地域づくりの推進

1 生涯健康対策の充実	6
2 感染症・結核対策の充実	36
3 メンタルヘルス対策の充実	48
4 認知症疾患対策の充実	55
5 難治性の疾患対策の充実	57
6 原爆被爆者健康管理及び福祉対策事業	61
7 石綿による健康被害の救済支援事業	62
8 地域保健師業務連絡会議等実施状況	63
9 保健師業務	64
10 保健福祉サービス連携調整会議	65

1 生涯健康対策の充実

(1) 禁煙・受動喫煙対策

ア 地域禁煙推進サポート事業

平成17年より、がんをはじめとする生活習慣病予防対策推進のため、生活習慣病の大きな要因である喫煙率の低下を目指し、研修、教育、相談等の事業を実施しました。

(ア) 地域禁煙サポート会議

開催日	内 容	構 成 員	出席者(人)
3月21日	・神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例について ・各市町村のたばこ対策の取組状況	市町村たばこ対策担当者 保健福祉事務所 医師・保健師 等	13

(イ) 研修

開催日	内 容	構 成 員	出席者(人)
3月21日	・平成23年度厚木保健福祉事務所管内の高校生の喫煙に関する調査結果報告 ・高校生の喫煙防止教育の実際	市町村たばこ対策担当者 保健福祉事務所 医師・保健師 等	13

(ウ) 地域禁煙サポート教育

開催日	内 容	対 象	参加者(人)
6月19日~21日	「清川村やまびこ健診」禁煙コーナー クイズ解説、パンフレット配布	清川村民	152
2月14日	神奈川工科大学 部活リーダー研修 講演「たばこの正体」	各部活部長 学友会執行部等	71

(エ) 地域禁煙サポート相談(随時相談)

a イベント出張相談

開催日	内 容	対 象	参加者(人)
6月3日	愛の禁煙キャンペーン	海老名市民他	55
10月21日	スモーカーライザー体験、相談		43
6月19日~21日	「清川村やまびこ健診」禁煙コーナー スモーカーライザー体験、相談	清川村民	21
2月14日	神奈川工科大学 部活リーダー研修 スモーカーライザー体験、相談	各部活部長 学友会執行部等	4

b 随時相談

件数	実数	延数
	8件	8件

(オ) 県央愛川農業協同組合有線放送出演

2月20日放送 テーマ「タバコに含まれる有害物質と病気」

イ 高校生への喫煙防止教育の実施

平成23年度までの3年間実施された「神奈川力まるごと活用事業」に引き続き、未成年者の喫煙防止対策を一層充実させるため、健康に深刻な影響を与えるたばこについて、高校生が適切な意思決定や行動ができるよう、希望する学校に対し、保健福祉事務所の医師や保健師による喫煙防止教育を実施しました。

平成24年度実施状況

学 校 名	実 施 日	対象者・数(人)
向の岡工業高等学校	平成24年5月22日	1、2年生 459
大師高等学校	平成24年7月4日	1年生 280
生田東高等学校	平成24年7月12日	全校生徒 760
厚木清南高等学校	平成24年9月27日	2年生 240
橋本高等学校	平成24年12月20日	1年生 276

ウ 受動喫煙防止条例の推進

平成22年4月1日に施行された「神奈川県公共の施設における受動喫煙防止条例」について、施設管理者向け説明会、県民向け周知キャンペーン、条例の周知と施設の現状の確認を目的とした戸別訪問等に重点的に取り組みました。

(ア) 施設管理者向け説明会の実施

項 目	回数(回)	参加者(人)
各種講習会等合同説明会	24	536

(イ) 県民向け周知キャンペーン(チラシ等配布)の実施

項 目	回数(回)	配布枚数(枚)
街頭キャンペーン	2	1,500
市町村健康まつり	1	100
学園祭参加	3	6,000

(ウ) 戸別訪問等実施件数(市町村別延件数)

地 域	訪問等件数(件)
厚木市	626
海老名市	317
座間市	322
愛川町	161
清川村	28
相模原市	2,328
合 計	3,782

(エ) その他の周知活動

県央愛川農業協同組合有線放送出演、来所、電話相談への対応等

(2) 母子保健対策

平成 25 年度の未熟児訪問指導の市町村への権限移譲に向けて、事業の円滑な移譲と管内母子保健支援の質の維持を図れるよう、市町村と緊密に連携して、母子保健事業を展開しました。

ア 養育支援事業（平成 17 年度～）

未熟児や障害・疾病を持って長期に療養する子どもとその保護者等が、地域で健康的な生活を送れるように、子どもの発育発達の促進や保護者等の養育を支援する事業を、医療・福祉・教育等の関係機関と連携しながら実施しました。

(ア) 訪問指導

a 未熟児把握状況

区分 市町村名	総 数	把握方法（体重別）（人）											
		1,000g 未満			1,000～1,499g			1,500～1,799g			1,800～1,999g		
		出生 連絡 票	医療 機関 からの 連絡 他	そ の 他	出生 連絡 票	医療 機関 からの 連絡 他	そ の 他	出生 連絡 票	医療 機関 からの 連絡 他	そ の 他	出生 連絡 票	医療 機関 からの 連絡 他	そ の 他
厚木市	183		1		3	4	1	1	5	2	1	9	2
海老名市	118		3		1	3		1	5		3	3	
座間市	123		1	3	6	2	1	2	5	1	7	4	1
愛川町	31					2					1	2	
清川村	4					1							
合計	459		5	3	10	12	2	4	15	3	12	18	3

区分 市町村名	把握方法（体重別）（人）					
	2,000g～2,499g			2,500g以上の 養育医療		
	出生 連絡 票	医療 機関 からの 連絡 他	そ の 他	出生 連絡 票	医療 機関 からの 連絡 他	そ の 他
厚木市	84	32	35		1	2
海老名市	68	22	8	1		
座間市	80	6	2		1	1
愛川町	23	1	2			
清川村	3					
合計	258	61	47	1	2	3

b 未熟児訪問指導実施状況

区分 市町村名	実 数 計	延 数 計	体 重 別 訪 問 指 導 数 (件)							
			1,000g 未満		1,000g ~ 1,499g		1,500g ~ 1,799g		1,800g ~ 1,999g	
			実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数
総 数	519	897	25	78	28	63	27	73	47	84
厚 木 市	188	316	6	14	6	11	9	23	16	38
海老名市	148	269	10	29	5	9	10	22	14	23
座 間 市	133	237	8	32	12	35	7	22	13	15
愛 川 町	47	72	1	3	4	7	1	6	4	8
清 川 村	3	3			1	1				

区分 市町村名	体 重 別 訪 問 指 導 数 (件)			
	2,000g ~ 2,499g		2,500g 以上の 養 育 医 療	
	実数	延数	実数	延数
総 数	389	595	3	4
厚 木 市	150	228	1	2
海老名市	108	185	1	1
座 間 市	92	132	1	1
愛 川 町	37	48		
清 川 村	2	2		

c 慢性疾患児訪問指導実施状況

区分 市町村名	実数 (人)	延数 (人)
総 数	36	114
厚 木 市	9	30
海老名市	16	43
座 間 市	10	39
愛 川 町	1	2
清 川 村		

d その他の訪問

区分 市町村名	養 育 困 難 な 母		乳 幼 児 (未 熟 児 の 同 胞 等)	
	実数 (人)	延数 (人)	実数 (人)	延数 (人)
総 数	20	74	20	38
厚 木 市	9	28	12	20
海老名市	5	24	2	6
座 間 市	2	11	4	8
愛 川 町	4	11	2	4
清 川 村				

(イ) 養育相談(発達専門相談)

低出生体重児や長期療養児等のうち発育や発達について必要があると思われる子どもに対し、専門医師、理学療法士、臨床心理士、管理栄養士、保健師による相談を実施しました。

開設回数	来所者数		把握方法(実数)													
	実数(人)	延数(人)	保健福祉事務所				市町村						医療機関	その他		
			未熟児	小児特定疾患	家庭訪問	その他	乳幼児健診				育児相談	家庭訪問			その他(転入)	
							4か月児	8～10か月児	1歳6か月児	3歳6か月児						
6	32	55	27			4									1	

相談目的(重複)								処遇(重複)							
成長	発達	疾病	栄養	生活	未熟児	養育の問題	心理	問題なし	再受診	家庭訪問	電話確認	来所面接	医療機関紹介	療育機関紹介	市町村へ引継ぎ
39	45		22	4	6	1	11	6	27	6	6	2	2	3	8

(ウ) 所内指導(養育支援対象者)

		精神障害(母)	難病(母)	妊婦	産婦	障害児	小児特定	未熟児	乳児	幼児	その他(同胞等)
実数(人)		11	1		15	97	37	774	15	96	5
延数(人)		52	1		39	401	118	2,289	25	154	14
指導方法	面接	1			1	36	10	127	1	2	
	電話	50	1		37	301	101	2,008	24	119	14
	文書・メール	1			1	64	7	154		33	

(工) 養育不適切事例への支援

未熟児・慢性疾患児の訪問指導の中で、養育困難など児童虐待の疑い事例について、虐待予防の観点から、訪問、相談、児童相談所への通報等の支援を行いました。
(P10 未熟児訪問指導実施状況・慢性疾患児訪問指導実施状況の再掲)

a 対応状況

	訪 問	相 談
実数(人)	61	
延数(人)	196	745

b 対象者の年齢 被虐待児

対象人数 (人)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳以上
61	22	15	9	8	2	4	1

c 虐待の内容 重複あり

延数 (人)	身体的	心理的	性的	ネグレクト	その他
63	3	7		10	43

d 児童相談所への通告

実数(人)	3
-------	---

内容：保健ネグレクト・ネグレクト・養育不適切

(オ) 集団指導

a 養育支援教室

教室名	開催日	内容	講師等	参加者(人)
未熟児支援教室 (概ね修正月齢7~10ヶ月の低出生体重児とその保護者)	11月6日	講演・交流会 「一緒に遊びながら伸ばす赤ちゃんの発達」	神奈川リハビリテーション病院 理学療法士 磯貝 仁美	親 6 子 6
子育て交流会 (医療機器装着児および重症心身障害児等とその保護者)	10月24日	講演・実技 「チャイルドマッサージを親子で体験」 交流会 「災害時の備えについて」	フリー助産師 張ヶ谷 智子	親 6 子 7
	11月15日	講演・実技 「家庭でできるアロマを体験」 交流会 「日常生活での工夫」	日本チャイルドボディワーク普及協会セラピスト 岩下 祐子	親 8 子 8
ダウン症児教室 (親の会と共催)	8月10日	講演・相談会 「ダウン症児の歩行支援」	帝京平成大学健康メディカル学部理学療法学科 教授 田代 千恵美 厚木市子ども育成課 子育て支援センター 保育士 熊澤 知枝	親 14 子 13 その他 6
	10月10日	講演・実技 「ふんわりアロマでリフレッシュ~香りを楽しみながらこころとからだをほぐしましょう~」	日本チャイルドボディワーク普及協会セラピスト 岩下 祐子	親 11 子 6

b 親の会支援

教室名	回数(回)	内容	参加延人数	
未熟児親の会	パンダクラブ	12	情報交換・交流会 学習会・親子遊び	170
多胎児親の会	スマイルチェリー	11	情報交換・交流会 学習会・親子遊び	248
ダウン症児親の会	ひまわり会	12	情報交換・交流会 学習会・親子遊び	188
喘息児親の会	喘息サークル	5	情報交換・交流会 学習会	78

イ 未熟児訪問指導の市町村への権限移譲

未熟児訪問、未熟児等関連事業について、市町村が平成25年度から地区特性に合わせて展開できるように、技術支援および実務的な研修を実施しました。

(ア) 未熟児訪問

事業 \ 市町村	総数(件)	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村
未熟児の同行訪問	25	6	6	6	3	4

(イ) 相談等の同席研修

事業 \ 市町村	総数(人)	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村
子ども発達専門相談	10	3	2	4		1
未熟児支援教室	3	1	1	1		

(ウ) 親の会支援の同席研修

事業 \ 市町村	総数(人)	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村
未熟児親の会	8	2	1	2	1	2
多胎児親の会	8	4	2	1		1

(エ) 会議の参加研修

事業 \ 市町村	総数(人)	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村
処遇会議	9	2	2	2	2	1

(オ) 未熟児の円滑な医療連携研修

開催日	内 容	講 師	出席者	参加者 (人)
7月31日	NICU から地域へ 退院する未熟児と 保護者への支援 ・未熟児医療 ・親への支援(看護) ・地域との連携 ・事例紹介 ・NICU 見学	北里大学病院 NICU 医 師 鋤持 学 NICU 看護師 中野 幸子 患者支援センター 渡辺 洋子	厚木保健福祉事 務所および隣接 保健福祉事務所 管内の市町村職 員・保健福祉事 務所職員	24
9月25日		東海大学医学部付属病院 NICU 医師 鈴木 啓二 NICU 看護師 西 江利子		25
10月30日		聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 NICU 医師 正木 宏 NICU 看護師 高塚 美紀		19

(カ) 未熟児支援研修

開催日	内 容	講 師	出席者	参加者 (人)
2月28日	未熟児の発達の見 方と虐待予防のた めの観察ポイント	こっこどもクリニック 院長 野村 雅寛	厚木保健福祉事 務所管内の市町 村職員・保健福 祉事務所職員	34
3月11日	未熟児の母乳育児	フリー助産師 張ヶ谷 智子		31

ウ 生涯を通じた女性の保健相談等事業（平成10年度～）

女性は、妊娠、出産等固有の機能を有するだけでなく、女性特有の身体的特徴を有することにより、さまざまな支障や心身にわたる悩みを抱えていることがあります。そのため、女性がその健康状態に応じ、的確に自己管理ができるよう気軽に相談できる場を開設しました。

(ア) 一般相談

総 数 (件)	相 談 方 法			相 談 回 数		相 談 者		相 談 契 機 (実数)			
	電 話	面 接	そ の 他	相 初 談 回	再 相 談	本 人	そ の 他	広 報	市 町 村	保 健 福 祉 所	そ の 他
10	9	1		9	1	8	2			1	8

エ 思春期保健事業（昭和 62 年度～）

思春期男女の心身の健全な成長と、将来の母性の健康増進を図ることを目的に、思春期特有の医学的問題、性に関する不安や悩み等に対して個別相談を実施しました。

区分 性別	総 数 件	相談方法			相談者（延）			
		電 話	面 接	合 計	本 人	父 母	そ の 他	合 計
男 性	1	1		1	1			1
女 性								
合 計	1	1		1	1			1

オ 特定不妊治療費助成事業（平成 16 年度～）

指定医療機関で体外受精及び顕微授精を受けた場合の治療に要する費用の一部を助成しました。

総 数（件）	厚 木 市	海老名市	座 間 市	愛 川 町	清川村
513	181	153	153	26	

カ 不妊相談事業（平成 16 年度～）

不妊等に関する相談を面接又は電話により行いました。

相談なし

キ 小児の医療援護

(ア) 自立支援医療費(育成医療)給付(平成18年度～)

18歳未満の身体障害児が指定医療機関で治療を受けたときの費用の一部を給付しました(原則として医療費の10%を自己負担。ただし、負担上限額あり。医療機関において自己負担金を徴収)。なお、平成25年4月1日から本事業は市町村へ権限移譲されました。

区分 市町村名	総 数 (件)	肢 体 不 自 由	視 覚 障 害	聴 覚 平 衡 機 能 障 害	音 機 能 障 害 音 声 言 語 そ し ゃ く	心 臓 障 害	腎 臓 障 害	小 腸 機 能 障 害	そ の 他 内 臓 障 害	免 疫 機 能 障 害
総 数	50	16		1	10	13	2	1	7	
厚 木 市	20	9			2	3	1	1	4	
海老名市	16	4			3	6	1		2	
座 間 市	12	2		1	4	4			1	
愛 川 町	2	1			1					
清 川 村										

市町村への権限移譲により支給認定の審査のみ行った件数 : 4件

(イ) 小児慢性特定疾患医療給付(平成17年度～)

小児慢性特定疾患に罹患し、対象基準に該当する18歳未満の児童(継続申請に限り20歳未満)が、委託医療機関で治療を受けたときの費用を給付しました(保護者の所得税額により医療機関において自己負担金を徴収)。

区分 市町村名	総 数 (件)	悪 性 新 生 物	慢 性 腎 疾 患	慢 性 呼 吸 器 疾 患	慢 性 心 疾 患	内 分 泌 疾 患	膠 原 病	糖 尿 病	先 天 性 代 謝 異 常	血 友 病 等 血 液 疾 患	患 ・ 免 疫 疾 患	神 経 ・ 筋 疾 患	慢 性 消 化 器 疾 患
総 数	379	60	23	3	83	116	14	24	17	17	12	10	
厚 木 市	160	23	9	2	33	45	8	14	8	5	7	6	
海老名市	103	24	6		24	28	4	4	4	4	4	1	
座 間 市	77	9	4	1	22	30	1	2	1	6		1	
愛 川 町	38	4	4		4	12	1	4	4	2	1	2	
清 川 村	1					1							

(ウ) 未熟児等養育医療給付(昭和33年度～)

未熟児は正常の新生児と比べ、疾病にかかり易く死亡率も高いことから、出生後速やかに適切な処置を講じる必要があるため、指定医療機関において必要な医療の給付を行いました(保護者の所得税額により当所において自己負担金を徴収)。なお、平成25年4月1日から本事業は市町村へ権限移譲されました。

区分 市町村名	総数 (件)	1,000g 以下	1,001g～ 1,500g	1,501g～ 1,800g	1,801g～ 2,000g	2,001g～ 2,300g	2,301g～ 2,500g	2,501g 以上
総数	91	11	22	18	21	6	5	8
厚木市	31	1	6	5	9	2	3	5
海老名市	24	3	5	7	4	3	1	1
座間市	28	6	8	6	4	1	1	2
愛川町	7	1	2		4			
清川村	1		1					

市町村への権限移譲により支給認定の審査のみ行った件数 : 1件

(エ) 療育医療給付(昭和36年度～)

長期療育を必要とする18歳未満の結核児童に対し、指定療育機関に入院させ、適正な医療を行うとともに、併せて学校教育を受けさせ、心身両面にわたる健全な育成を図ることを目的とし、給付を行いました。

申請なし

ク 未熟児養育医療・育成医療の市町村への権限移譲

平成25年4月1日施行の未熟児養育医療及び育成医療の市町村への権限移譲に向け、保健福祉事務所が行っている支給認定事務の円滑な事務処理の引継ぎを図るため、市町村担当者説明会を開催しました。

名称	開催日	内容
養育・育成医療の市町村への権限移譲に関する市町村担当者説明会	11月20日	・養育医療・育成医療の給付認定事務に係る事務手続きについて
	3月15日	・事務移管に係る伝達事項・注意点について ・引渡し書類の引継ぎ

ケ 母子保健委員会

(ア) 母子保健委員会

保健福祉事務所及び市町村が実施する母子保健関連事業が円滑かつ効果的に行われるよう各種の母子保健関連業務の課題の検討や実績等の分析評価を実施し、母子保健施策の向上を図ることを目的として開催しました。

開催日	内 容	構成員	出席者(人)
1月24日	1 母子保健部会(未熟児訪問指導の市町村移譲)の報告 2 平成25年度養育医療・育成医療の市町村移譲にむけて 3 平成25年度の市町村・保健福祉事務所の母子保健事業について 4 市町村母子保健報告からみた乳幼児健診状況について	医師会 市町村母子保健主管課長 児童相談所 保健福祉事務所長	9

(イ) 母子保健部会

開催日	内 容	構成員	出席者(人)
5月22日	1 厚木保健福祉事務所の未熟児管理の状況 2 未熟児訪問指導の市町村移譲に係るスケジュール 3 市町村の準備状況	市町村母子保健担当保健師	17
9月22日	1 厚木保健福祉事務所が行っている未熟児関連事業の方向性について 2 市町村の未熟児関連事業(案)について 3 保健福祉事務所の未熟児等継続支援事例の平成25年度以降の役割分担及び新規事例の訪問指導について	保健福祉事務所母子担当保健師	19
12月17日	1 平成25年度のこども発達専門相談、摂食機能発達支援の市町村からの依頼方法について 2 乳幼児の発育発達支援について 3 平成24年度の母子保健委員会の議題について	市町村母子保健担当保健師 保健福祉事務所母子担当保健師・歯科衛生士・小児医療援護事務担当者	18

(3) がん予防対策

「がんへの挑戦・10か年戦略」の中間評価を受け、目標達成のための指標に位置付けた「がん検診受診率50%以上」を目指し、地域のニーズや実情に応じて企業や県民にがん検診受診を啓発しました。

ア 地域企業におけるがん検診受診促進事業（平成23年度～）

勤労者のがん検診受診促進に向けた啓発を目的として、地域の企業、事業所等を対象とした関係機関主催の研修会等で、講話、啓発を実施しました。

開催日	研修会名	啓発方法	出席者(人) または 配布数(部)
6月～7月	当所食品衛生課主催 食品衛生責任者講習会	リーフレット配布	510
9月7日	神奈川県労務安全衛生協会厚木支部主催 労働衛生週間推進大会	リーフレット配布	250
10月5日	神奈川県労務安全衛生協会厚木支部主催 労働衛生研修会	リーフレット配布	41
11月1日 9日	当課主催 介護保険事業所対象感染症予防研修会	スライド上映	103
2月19日	当所環境衛生課主催 美容所衛生講習会	啓発講話 リーフレットの配布	292

イ がん検診普及啓発セミナー（平成24年度～）

がん検診受診率の一層の向上を目指して、市町村、保健福祉事務所、NPO、関係団体等が協働して、がん検診受診の啓発活動を行いました。

(ア) 24年度の連携市町村 海老名市

開催日	イベント名 協働した関係機関	啓発方法	出席者(人) または 配布数(部)
7月22日	海老名子育てフェスティバル 海老名市健康づくり課 全国健康保険協会神奈川支部 予防医学協会(マンモ車) 厚木保健福祉事務所	リーフレット配布 乳がん自己触診法指導 がん検診申し込み マンモ検診車見学	263 178 5 28
11月18日 12月9日	がん講演会 海老名市健康づくり課 健康なまちづくり実行委員会(住民組織) コスモスの会(県立がんセンター-患者会) 厚木保健福祉事務所	健康落語 がん患者による体験談	118

(4) 食生活の対策

ア かながわ健康プラン 21 栄養・食生活対策

(ア) 地域食生活対策推進協議会（平成元年度～）

地域で総合的な食生活改善活動を効果的に推進していくことを目的として、食生活の実態把握・診断及びそれに基づく食生活改善方策、関連分野との連携について協議しました。

会議名	開催日	協議内容	構成員	出席者 (人)
協議会	2月15日	(1) 健康増進計画・食育推進計画に基づき市町村及び保健福祉事務所が行っている食に関する取り組みと課題について (2) 平成24年度の若い世代への食生活支援体制づくりに関する取り組みについて (3) 今後の取り組みについて	産業医、厚木地区給食協議会会長、工業団地協同組合常務理事、大学学生担当部長、食生活改善推進団体会長、学識経験者等	15
実務担当者 会議	9月21日	“新米パパママ向けリーフレット”の内容について	市町村健康づくり主管課管理栄養士・保健師、フリー栄養士	7
	12月26日			6

(イ) 若い世代への食生活支援体制づくり事業（平成21年度～）

当所ホームページの栄養・食生活ページの充実及びリニューアルを行い、ツイッターを活用して積極的に情報発信をしました。

- a 新入生・新入社員向けのリーフレットを作成し、『祝！大学・社会人デビュー号』と題してホームページへ掲載
- b 若い世代が実際に食べている朝食レシピを集め『まいあさごはん』と題してホームページへ掲載
- c 社員食堂を健康づくりにいかす企業活動の紹介を『気になる!? 隣の社食ごはん』と題してホームページへ掲載
- d 新米パパ・ママの食生活改善を目的にリーフレットを作成し『祝！新米パパ・ママ』と題してホームページへ掲載
- e 食生活改善推進団体あゆみ会の普及メニューと活動紹介を目的に『本日開店！あゆみ食堂』と題してホームページへ掲載

(ウ) 栄養・食生活対策推進事業(平成18年度～)

地域特性に応じた食環境づくりを推進するため、関係機関・団体と連携してその取組みを支援し、地域における栄養・食生活対策の推進を図りました。

内容	区分	集 団 指 導		対 象
		回数(回)	延人数(人)	
総	数	5	946	
職域等と連携した生活習慣病予防対策		1	40	事業所安全衛生・健康管理スタッフ
		1	5	事業所保健師・看護師
		1	43	事業所安全衛生担当者等
学校等と連携した栄養・食生活対策		1	800	高校1・2年生、教職員
栄養・食生活対策担当者の研修		1	58	給食施設管理者・栄養士、市町村栄養士、フリー栄養士会会員等

(エ) 栄養表示等適正化推進事業(平成8年度～)

健康づくりや生活習慣病予防のために、栄養表示基準制度の普及啓発と活用を推進するとともに、表示の適正化について指導・調査を行いました。

a 普及啓発講習会

対象	区分	回数(回)	参加延人数(人)	内 容
事業者		2	288	栄養表示基準制度の普及啓発
消費者		1	51	講義「栄養表示について」
給食施設		2	299	給食施設における栄養表示の普及啓発
合計		5	638	

b 事業者に対する表示適正化指導

区分	内容	健 康 増 進 法			合 計
		第26条・27条	第31条	第32条の2	
		特別用途食品	栄養表示基準	虚偽誇大表示	
件数(件)			5		5
延回数(回)			7		7

c 消費者からの相談 平成24年度該当なし

区分	内容	健康増進法			合計
		第26条・27条	第31条	第32条の2	
		特別用途食品	栄養表示基準	虚偽誇大表示	
件数(件)					
延回数(回)					

d 収去・買取調査

区分	内容	健康増進法			合計
		第26条・27条	第31条	第32条の2	
		特別用途食品	栄養表示基準	虚偽誇大表示	
収去	件数(件)				
栄養表示 状況調査	件数(件)				
管内業者 栄養表示 状況調査	件数(件)		11		11

(オ) 専門的栄養指導・食生活支援事業(平成6年度～)

慢性疾患及び難病等や、養育上の課題を持つ児(未熟児や嚥下障害児等)及びその保護者に対し、個々に適応した相談を行いました。また、それらに関わる支援者に対し、相談技法や食生活指導の実際について研修会を開催しました。

a 専門栄養相談

疾病別件数(件)					乳幼児(未熟児 嚥下障害等) (件)
糖尿病合併症	脂質異常症・ 肥満合併症	肝・腎臓疾患	難病	その他	
5		3	3	9	81

b 食生活支援担当者研修会

地域で食生活支援に係わる医療や福祉、職域等の関係者に対し保健指導技術の向上及び事業の円滑実施のための研修会を開催しました。

開催日	内 容	講 師	参加者(人)
10月11日	講演「食物アレルギー」 ～保育所、学校での対応について～ 意見交換	国立病院機構相模原病院 臨床研究センター アレルギー・性疾患研究部 管理栄養士 林 典子	26
12月17日	事例報告 「保育所・小学校での取り組みについて」 情報提供 「食物アレルギーサインプレートについて」	海老名市子育て支援 課 管理栄養士 社会福祉法人愛慈会 岡田保育園 栄養士 座間市立旭小学校 管理栄養士 AL サインプロジェクト 代表	36

(カ) 市町村支援

a 管内栄養改善業務連絡調整

保健福祉事務所と市町村の栄養改善業務の効果的推進及び共有化を図るため、会議を開催しました。

会 議 名	開 催 日	内 容
管内市町村 栄養改善業務 連絡調整会議 (担当者会議)	5月25日	平成24年度栄養改善業務計画について 食生活改善推進員養成合同講座について 「改訂版：乳幼児健康診査の手引き」の作成について
	10月29日	「改訂版：乳幼児健康診査の手引き」の作成について
	3月11日	平成24年度栄養改善業務について 平成25年度栄養改善業務計画について

b 技術支援

市町村名	内 容
厚木市・海老名市 座間市・愛川町・清川村	「乳幼児健診 栄養相談マニュアル」の作成
清川村	清川村広報への寄稿「カッコイイ大人になるために！ ～自分に合った食べ方を身につける～」

(キ) 地域保健活動推進研修(平成18年度～)

地域住民の健康の増進を目的とした栄養指導その他保健指導に必要な専門知識及び技術を修得するために県、市町村等の地域保健担当者を対象に研修を行いました。

開催日	内 容	講 師	参加者 (人)
3月18日	講演「暮らし・家族の中にある食育」 ～現代家族への支援を考える～ 意見交換	聖徳大学児童学部児童学科 前教授 臨床心理士 室田洋子	20

(ク) 人材育成

a 食生活改善推進団体あゆみ会の育成

地域の健康づくりの推進役として、食生活改善の自主的な実践活動を展開するための育成指導を行いました。

指導回数(回)	延人数(人)	備 考
7	294	定例会・研修会

b 在宅栄養士の育成

市町村をはじめ地域で食生活改善活動を行っている在宅栄養士会の育成支援を行いました。

回数(回)	延人数(人)	備 考
6	37	フリー栄養士の会会員 フリー栄養士定例会

(ケ) 国民健康・栄養調査(昭和20年度～)

実施地区	対象世帯数 (世帯)	実施世帯数 (世帯)	実施人数 (人)	内 容
厚木市元町	27	19	34	栄養摂取状況調査・身体 状況調査・生活習慣調査

イ 特定給食等指導事業（昭和 27 年度～）

健康増進法及び小規模特定給食施設の栄養改善に関する条例に基づく特定給食施設等に対し、講習会や実地指導等により必要な指導・助言を行い、利用者の健康づくりを推進しました。

また、給食施設栄養管理報告書により栄養管理状況の把握を行うとともに、管理栄養士の配置が必要な特定給食施設に対して指定及び取消し等の指導を行い、栄養管理の充実を図りました。

（ア）特定給食施設等講習会

区分	実施回数	開催日	内容	講師	参加施設数	参加者(人)
総数	4				251	314
全体講習会	2	6月21日	講話(1)「衛生管理～食中毒予防について～」	厚木保健福祉事務所 食品衛生監視員	236	299
		7月11日	講話(2)「調理従事者のための腰痛予防」	海老名総合病院 理学療法士 有山理沙		
			講話(3)「厚木保健福祉事務所における若い世代への取り組みについて」	厚木保健福祉事務所 管理栄養士		
(中学校給食)種別講習会	1	11月26日	(1)情報提供 「神奈川県学校給食栄養報告書からみる中学校給食の状況について」 (2)情報交換	県保健体育課 管理栄養士 桜井雅子	7	7
(社会福祉施設)種別講習会	1	1月30日	(1)講演 「利用者のQOL向上をめざした食支援～事例を通して～」 (2)情報交換	ひばりが丘学園 管理栄養士 熊倉明日香	8	8

(イ)健康増進法第18条第1項第2号に基づく給食施設指導

区 分		管理栄養士のみいる	栄養士のみいる	どちらもある	どちらもない	延指導件数(件)
		施設数	施設数	施設数	施設数	
管理栄養士配置指定施設	学 校					
	病 院			7		7
	介護老健					
	老人福祉					
	児童福祉					
	社会福祉					
	事業所	8		7		12
	寄宿舎					
	自衛隊					
	その他					
合 計	8		14		19	
1回300食以上又は1日750食以上を除く	学 校	20	12	7	3	38
	病 院					
	介護老健					
	老人福祉					
	児童福祉					
	社会福祉					
	事業所	2	3		3	9
	寄宿舎					
	自衛隊					
	その他					
合 計	22	15	7	6	47	
1回100食以上又は1日250食以上を除く	学 校	1	6	3	4	5
	病 院	1		10		11
	介護老健	2		5		5
	老人福祉	6		5		7
	児童福祉	1	7	2	12	22
	社会福祉		3	4		2
	事業所	3	6		19	35
	寄宿舎					
	自衛隊	1				
	その他			1	1	1
合 計	15	22	30	36	88	
その他の給食施設	学 校		1			
	病 院	2		2		5
	介護老健	2		2		1
	老人福祉	3	2	8	1	9
	児童福祉	6	12		23	41
	社会福祉	2	1	1	4	4
	事業所		9		20	16
	寄宿舎				2	2
	自衛隊					
	その他	1	6		6	10
合 計	16	31	13	56	88	

(ウ) 給食施設栄養管理報告書の提出状況

区 分	対象施設数 (箇所)	提出施設数 (箇所)	電子届出数(再掲) (件)
学 校	54	54	1
病 院	22	22	8
介 護 老 健	10	10	3
老 人 福 祉	25	25	14
児 童 福 祉	63	63	7
社 会 福 祉	15	15	10
事 業 所	73	72	6
寄 宿 舎	2	2	
自 衛 隊	1	1	
そ の 他	13	13	2
合 計	278	277	51

(5) 歯科保健対策

ア 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業（平成7年度～）

市町村実施の1歳児歯科教室、1歳6か月児歯科健診、2歳児歯科健診でう蝕ハイリスク要因を保有し、継続的な歯科保健指導等が必要と認められる幼児と保護者に対して、歯科健診、歯科保健指導、う蝕予防処置等を行いました。

(ア) 歯科検診・予防処置等の実施状況

開設回数 (回)	受診者数(人)			予防処置者等数(人)				
	初診	再診	合計 (延人数)	フッ素 塗布者数	フッ化ジアン ミン銀塗布者数	フッ素 液磨き	R D テスト	合計 (延人数)
52	198	275	473	196	277	3	9	485

(イ) 初診者の把握経路

区分 市町村名	市町村事業(人)				保健福祉 事務所事業 (人)	合計
	1歳児歯科教室	1歳6か月児健診	2歳児健診	その他		
厚木市	1	23	15	1	2	42
海老名市	1	25	11			37
座間市	17	43	26	1	2	89
愛川町	1	7	11		1	20
清川村				10		10
合計	20	98	63	12	5	198

(ウ) 初診者のう蝕有病状況

把握事業名	区分 受診者数 (人)	う蝕の状況(人)		
		う蝕あり	う蝕の疑い	う蝕なし
1歳児歯科教室	20	1	5	14
1歳6か月児健診	98	29	21	48
2歳児健診	63	22	10	31
その他	12	3	2	7
保健福祉事務所事業	5	1	1	3
合計	198	56	39	103

イ 歯周疾患予防対策事業（歯ぐきのセルフチェック講座）（昭和63年度～）

20歳～30歳代の者に対して、歯周疾患予防及び進行防止のためのセルフケア技術・生活習慣に関わる知識を普及し推進しました。

開設回数 (回)	受診者数(延人数)		
	初診	再診	合計
2	6		6

ウ 在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業（平成9年度～）

在宅で療養する難病患者、障害児者等の歯科疾患予防及び誤嚥性肺炎などの全身疾患予防のために、歯科健診、口腔観察、歯科保健指導又は口腔ケアを行い、必要に応じて予防処置又は口腔諸機能の訓練を行いました。

（ア）被訪問者数

被訪問者状況		年齢		6歳以下		7～19歳		20～39歳		40～64歳		65歳以上		合計(人)	
新 規 者 （ 把 握 経 路 別 ）	保健福祉 事務所事業	4	(4)	1	(1)							2	(2)	7	(7)
	市町村事業														
	家族依頼														
	その他														
前年度からの継続												1		1	
被訪問者実数		4	(4)	1	(1)							3	(2)	8	(7)
被訪問者延数		5	(5)	1	(1)							3	(2)	9	(8)

各年齢区分欄の右側：（ ）内は、身障・療育手帳保持者（再掲）

（イ）全新規者の疾患状況

疾患名	年齢		6歳以下		7～19歳		20～39歳		40～64歳		65歳以上		合計(人)	
慢性疾患児・障害児			4		1									5
特定疾患者												3		3
脳血管障害後遺症者														
認知症疾患者														
その他														
合計			4		1							3		8

エ 障害児者等歯科保健事業（昭和 59 年度～）

障害児者や家族等に対し、歯科疾患予防、口腔機能の維持・向上等に関する指導と摂食機能発達支援を保健師・栄養士とともに行いました。

（ア）歯科検診・予防処置等の実施状況

開設回数 (回)	受診者数		実施内容内訳（延数）			
	実数	延数	口 腔 内 診 査	歯 科 保 健 指 導	予 防 処 置	R D テ ス ト
個別	36	45	90	92	37	
集団	4	18		28		
計	40	63	90	120	37	

* 集団（知的障害者通所施設 1 件× 2 回、座間市歯科医師会摂食事業 2 回）

（イ）摂食機能発達支援（再掲）

	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村
実人数（人）	11	9	11	1	1
延人数（人）	18	21	24	2	2

オ 健康教育

区分	日 時	対 象	内 容	講 師	参加者 (人)
母子	6月8日	座間市サニーキッズ 通園児	う蝕予防	当所歯科医師・歯 科衛生士	36
	2月20日	パンダクラブ (未熟児)	う蝕歯予防 歯周病予防	当所歯科衛生士	14
成人 ・ 老人	4月25日	あゆみ会（食生活改 善推進団体）	歯周病予防、口 腔機能向上	当所歯科医師	132
	8月9日	愛川町健康増進事業 参加者	歯周病予防、口 腔機能向上	当所歯科衛生士	37
その他	6月28日	いぶき（知的障害者 施設）	う蝕予防、口腔 機能向上	当所歯科衛生士、 座間市歯科医師会	14
	7月10日	生活教室（海老名市）	歯周病予防、口 腔機能向上	当所歯科衛生士	7
	9月25日	神経難病患者	歯周病予防、口 腔機能向上	当所歯科医師・歯 科衛生士	6
	1月17日	いぶき（知的障害者 施設）	う蝕予防、口腔 機能向上	当所歯科衛生士、 座間市歯科医師会	14

カ 人材の育成（研修・講習会）

研修・講習会名	開設回数 (回)	延参加者数 (人)	内 容
厚木管内在宅歯科 衛生士勉強会	1	9	・乳幼児健診における支援方法等について
県・海老名市・他県 歯科医師行政研修	17	17	・行政における歯科保健対策について

キ 歯及び口腔の健康づくり推進委員会

(ア) 歯及び口腔の健康づくり推進委員会（平成15年～）

保健福祉事務所管内の歯及び口腔の健康づくりにかかる事項について、関係者が協議、意見交換し、歯科保健事業の効果的かつ円滑な推進を図ることを目的として開催しました。

開催日	内 容	構成員	出席者 (人)
2月21日	1 昨今の地域歯科口腔保健の動向等について 2 各市町村の歯科保健事業の現状について 3 担当者会議（部会）の実施状況と今後について	厚木・海老名市・座間市歯科医師会、管内歯科衛生士会、各市町村関係課長と担当者（海老名市は歯科医師、他は保健師）、8020運動推進員、食生活改善推進団体、健康普及員、社会福祉協議会、厚木地域包括支援センター、学識経験者（大学准教授、湘南くち体操普及員）、保健福祉部長	23

(イ) 8020運動推進員に関する部会（平成24年～）

開催日	内 容	構成員	出席者 (人)
10月31日	1 8020運動推進員養成事業について 2 8020運動推進員育成研修の実施状況について 3 8020運動推進員による普及活動について（今後について）	各市町村担当保健師、保健福祉部長、保健福祉課長、歯科衛生士、栄養士	10

(ウ) 母子歯科保健に関する部会（平成24年～）

開催日	内 容	構成員	出席者 (人)
1月29日	1 県民歯科保健実態調査報告等について 2 管内の歯科保健事業（母子保健分野）の現状と課題について 3 摂食機能発達相談について	各市町村担当保健師、保健福祉部長、保健福祉課長、歯科衛生士、栄養士	10

ク フッ化物洗口普及啓発事業（平成 18 年度～）

う蝕予防対策として効果的なフッ化物洗口を普及させるため、フッ化物洗口の説明会を行いました。

フッ化物洗口説明会：清川村の幼児と保護者へ行いました。

開催施設数（施設）	開催回数（回）	参加者数（人）
1	1	16

ケ 歯間清掃用具普及対策事業（平成 20 年度～）(国庫補助事業)

歯の健康づくりのために重要なセルフケアである歯間清掃用具の活用の推進を図りました。

実施回数（回）	使用法指導人数
36	321

コ 8020 運動推進員養成事業（平成 23 年度～）

8020 運動をはじめとする歯及び口腔の健康づくりを推進するため、口腔機能向上等の普及啓発活動等、歯及び口腔の健康づくりを自主的に実施する 8020 運動推進員の育成を行いました。

(ア) 育成研修（フォローアップ研修）の開催

神奈川県での養成研修を受けた推進員を対象に、管内市町村、関係団体、所内職員と連携して、推進員が自主的な活動を円滑に実施できるように研修を行いました。

a 育成研修

8020 運動推進員		受講者の背景				計
		健康普及員	食生活改善 推 進 員	介護予防 サポーター	その他	
厚木市	1 期生	5				5
	2 期生	3	20			23
海老名市	1 期生	10	1			11
	2 期生	11	2			13
座間市	1 期生	1	2	3	3	9
	2 期生		2	4		6
愛川町	1 期生		6			6
	2 期生					
清川村	1 期生					
	2 期生				2	2
保健福祉 事務所	1 期生					
	2 期生				1	1
計	1 期生	16	9	3	3	31
	2 期生	14	24	4	3	45

b 育成研修内容

開催日	内 容	講 師	参加者(人)	
			1期生	2期生
4月18日 (厚木市1期生 補講)	講義・8020運動とは・お口の健康体操とは 実習・口腔機能チェック、味覚感覚チェック	当所歯科医師、 歯科衛生士	12	
5月31日 (1期生)	講義・美容とくち体操・熱中症対策について 実習・口腔機能チェック ・唾液分泌量測定シート作成、お口の健康 体操発表	当所歯科医師、 歯科衛生士、 栄養士、保健師	21	

開催日	内 容	講 師	参加者(人)	
			1期生	2期生
7月27日 (1期生)	講義・嚥下・発声とくち体操 ・ひざの健康について 実習・分泌量測定シート作成 ・味覚チェック・お口の健康体操発表	当所歯科医師、 歯科衛生士、 栄養士、保健師	18	
10月17日 (1期生)	講義・くち体操の総復習 ・キシリトールについて 実習・口腔機能チェック ・口を乾燥して塩を舌に乗せる ・お口の健康体操	当所歯科医師、 歯科衛生士、 栄養士、保健師、 県歯科医師	13	
11月13日 (2期生)	講義・口の機能とその老化 ・くち体操の基本実技・媒体とは 実習・各自口腔機能チェック ・厚木市1期生による実演	当所歯科医師、 歯科衛生士、 栄養士、保健師	5	42
12月20日 (1・2期生合同)	講義・健口体操・口と脳神経・口と味わい 実習・各自口腔機能チェック・味覚チェック・ グループ毎の媒体披露と実演	健康運動指導士 原真奈美氏、当 所歯科医師、歯 科衛生士、 栄養士、保健師	20	36
2月13日 (1・2期生合同)	講義・お口の健康体操・お口きれい=病気の予防、 重要！嚥下のしくみ 実習・各自口腔機能チェック、とばない君作成、 媒体作成（舌体操 stockings 編） *1期生修了式 修了証交付	湘南くち体操普 及員 市川悦子 氏、小川すみ子 氏、当所歯科医 師、 歯科衛生士、 栄養士、保健師	19	39
合 計	研修開催回数 1期生:7回(厚木市補講1回含む) 2期生:2回(H25年度継続予定)		108	117

C 育成研修修了者

1期生 25名に修了証交付

	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村	計
修了者(人)	5	9	5	6		25

(6) 救急法普及啓発事業

管内の県民向けに、A E Dの使用を含めた救急法の普及啓発することを目的とした事業で、今年度は、8020運動推進員を対象に、厚木市消防本部に講師を依頼して講習会を実施しました。

開催日	内 容	講 師	参加者(人)
10月1日	講義及び実習 「普通救命講習」	厚木市消防本部 救急救命士	21

2 感染症・結核対策の充実

(1) 感染症対策会議（平成24年度～）

地域における感染症対策を推進するため、包括的な感染症対策会議として整理し開催しました。

ア 感染症対策会議

開催日	内 容	構 成 員	出席者 (人)
8月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策会議について ・感染症情報について ・感染症発生時の対応について 	医師会、病院協会 感染症指定医療機関 市町村、教育機関	27

イ 部会

部会名	開催日	内 容	構 成 員	出席者 (人)
エイズ部会	1月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・HIV/AIDSの現状 ・予防教育の実際 ・感染症情報 	教育機関 県機関	23
麻しん部会	3月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・麻しん発生状況と予防接種の現状 ・4期の麻しん予防接種対策のまとめ ・今後の取り組み 	医師会 市町村 教育機関 県機関	22

(2) 結核予防事業

平成19年3月31日で結核予防法が廃止され、結核は、平成19年4月1日から「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の2類感染症になりました。

ア 結核健康診断

(ア) 管理検診状況（昭和47年度～）

再発防止のために、治療終了後1年以上病状についての診断を受けていない患者に検診を実施しました。

受診者数(実)		受診結果(実)		
保健福祉事務所	医療機関	要医療	経過観察	観察不要
7			7	

(イ) 接触者健康診断状況(昭和47年度～)

患者が感染源となって接触者に感染させた疑いのある場合に家族及び接触のあった者に健診を実施し、感染者の発病予防、発病者や感染源の早期発見に努めました。

受診者数(実)		受診結果(実)		
保健福祉事務所	医療機関	要医療	発病の恐れのある者	異常なし
323	3	1	15	310

イ 患者指導

(ア) 保健指導(延)

訪問指導	所内指導	文書指導
58	308	28

(イ) 定期病状調査

治療終了後の経過観察者の適切な患者管理に資するために、医療機関へ定期病状調査を実施しました。

調査件数	88
------	----

(ウ) 結核患者管理促進事業(保健所機能型DOTSモデル事業)(平成15年度～)

結核患者の治療成功をめざして、協力医療機関との連携により毎月の受診状況、菌検査成績を把握し治療中断者の早期把握、支援の充実に努めました。

受診状況把握結果

総数 (人)	実数 (人)	結果		
		治療終了	治療中	中断
123	64	34	29	1

ウ 感染症診査協議会結核部会（平成19年度～）

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第18条に基づく他に感染させる恐れのある者に対する就業制限、同法第19条に基づく入院勧告及び第37条に基づく公費負担の医療申請内容の適否について診査・協議するため、専門委員により毎月2回（原則第1・第3水曜日）開催しました。

法律の改正により、従前の結核予防法に基づく結核診査協議会（昭和26年度～）は、平成18年度をもって終了しました。

医療費公費負担診査件数

区分	合計 (件)	37条申請 入院医療	37条の2申請（一般医療）							
			小計	被用者保険		国保	後期 高齢	生活 保護	国保退 職本人	その他
				本人	家族					
申請件数	209	74	135	41	7	50	20	13	3	1
医療内容合格	203	74	129	41	7	45	19	13	3	1
医療内容不合格	2		2			2				
保留	4		4			3	1			

エ 研修

結核医療従事者研修（平成8年度～）

月日	内容	講師	会場	参加者(人)
	実施せず 隔年実施			

才 結核患者の状況

(ア) 登録患者数

a 年末現在登録患者数（活動性分類別・受療状況・市町村別）

（平成24年12月31日現在）

区分	総数	活動性結核						不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症（別掲）	
		肺結核活動性				肺外結核活動性	治療中			観察中	
		登録時喀痰塗抹陽性		登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性・その他						
		初回治療	再治療								
平成22年	209	23	4	27	13	14	33	95	33	8	
平成23年	139	31		19	14	15	59	1	13	43	
平成24年	172	11		11	10	8	116	16	19	65	
受療別	入院	4	4								
	在宅医療	36	7	11	10	8			19		
	経過観察	116					116			65	
	不明	16						16			
市町村別	厚木市	76	6		4	6	3	50	7	7	33
	海老名市	36	3		3	1	2	27		5	10
	座間市	51	2		2	3	3	33	8	5	11
	愛川町	8			2			5	1	1	10
	清川村	1						1		1	1

b 年末現在登録患者数（年齢階級別・活動性分類別）

（平成24年12月31日現在）

区分	総数	活動性結核						不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症（別掲）	
		肺結核活動性				肺外結核活動性	治療中			観察中	
		登録時喀痰塗抹陽性		登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性・その他						
		初回治療	再治療								
総数	172	11		11	10	8	116	16	19	65	
0~4歳									2	3	
5~9										4	
10~14										2	
15~19	2				1		1				
20~29	20	1		1	2	2	10	4	1	12	
30~39	20	1		3	1		13	2	6	10	
40~49	18			2			15	1	7	18	
50~59	31	2		2	1	1	24	1	2	10	
60~69	29	5		1	1	2	18	2	1	6	
70歳~	52	2		2	4	3	35	6			

(イ) 新登録患者数

a 新登録患者数(年齢別階級別・活動性分類別・市町村別)

(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

区 分	活 動 性 結 核						潜在性 結核 (別掲)	
	総数	肺 結 核 活 動 性		その他 の結核 菌陽性	菌陰性 ・ その他	肺外 結核 活動性		
		喀痰塗抹陽性 初回 治療	再治療				治療中	
平成22年	72	21	4	24	11	12	36	
平成23年	92	30	1	24	20	17	24	
平成24年	59	19		17	14	9	27	
0～4歳							4	
5～9								
10～14								
15～19	1				1			
20～29	7	1		1	4	1	2	
30～39	10	3		6	1		8	
40～49	4	1		2	1		8	
50～59	7	4		1	1	1	3	
60～69	13	6		3	2	2	2	
70歳以上	17	4		4	4	5		
市 町 村 別	厚木市	30	11		7	8	4	9
	海老名市	12	4		3	2	3	4
	座間市	14	4		5	3	2	12
	愛川町	3			2	1		1
	清川村							1

b 肺結核活動性感染性登録患者数(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

医療区分	区分	総数	被用者保険		国民健康保険 退職者		後期 高齢者	生活 保護	そ の 他	不 明	
			本人	家族	一般	本人					家族
総 数		59	14	1	29		10	4		1	
入 院		19	4		8		4	3			
在宅医療		39	10	1	21		6	1			
治療なし		1								1	
不 明											

(ウ) 結核登録率の推移(人口10万対・概数)

年	神奈川県		管内	
	登録数	登録率	登録数	登録率
昭和 40	58,172	1,312.9	1,603	1,137.8
50	31,581	493.6	1,038	374.6
60	14,368	193.3	462	113.5
平成 7	9,798	118.8	290	59.6
18	5,244	59.3	208	39.9
19	4,941	55.5	175	33.4
20	4,602	51.4	198	37.6
21	4,602	51.1	190	36.0
22	4,237	46.8	209	39.7
23	4,275	47.2	223	44.2
24	-	-	172	32.6

(エ) 結核り患率の推移(人口10万対・概数)

年	神奈川県		管内	
	新登録数	り患率	新登録数	り患率
昭和 40	12,617	284.8	-	-
50	4,700	73.5	134	48.3
60	2,869	38.6	78	19.2
平成 7	2,496	30.3	101	20.7
19	1,654	18.6	88	16.8
20	1,629	18.2	101	19.2
21	1,633	18.1	93	17.6
22	1,577	17.4	72	13.7
23	1,561	17.2	92	17.5
24	-	-	59	11.2

(オ) 結核有病率(人口10万対)

年	神奈川県		管内	
	活動性結核	有病率	活動性結核	有病率
昭和 40	26,772	929.9	793	562.7
50	17,880	279.5	597	215.4
60	5,944	80.0	194	47.6
平成 7	3,559	43.2	112	23.0
19	1,459	16.4	83	15.9
20	1,386	15.5	84	16.0
21	1,468	16.3	78	14.8
22	1,350	14.9	82	15.6
23	1,310	14.5	82	15.6
24	-	-	40	7.6

(参考) 平成24年10月1日現在
 県人口9,072,133人 管内人口527,986人
 平成9年以前は非定型抗菌陽性患者を含む

カ エックス線業務

エックス線撮影業務

事業区分		撮影区分		直撮影		間撮影		断層撮影		総 数		前年度実績	
		人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件
総 数		187	187					187	187	225	225		
外 検 診	結核定期 患者家族検診	147	147					145	145	165	165		
	管 理 検 診	7	7					7	7	8	8		
事務所 依頼分	大和保健福祉 患者家族検診	28	28					28	28	42	42		
	管 理 検 診	5	5					5	5	10	10		

(参考)

B C G接種状況(市町村実施分)

市町村別	接種者数
総 数	3,914
厚 木 市	1,624
海 老 名 市	1,046
座 間 市	982
愛 川 町	246
清 川 村	16

(3) 感染症予防事業

ア 感染症発生及びまん延予防

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の一部改正があり、平成20年1月1日から麻しんと風しんが定点把握から全数把握となりました。また、必要に応じて調査及び健康診断を行いました。

(ア) 発生状況

分類	病名	発生件数	接触者数	便検査	病原体保有者	海外渡航先
1類						
2類	結核(別記)					
3類	腸管出血性大腸菌感染症	5	25	20		
	腸チフス	1	1	1		
4類	レジオネラ症	2				
5類	アメーバ赤痢	1				
	後天性免疫不全症候群	5				
	梅毒	4				
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1				
	風しん	25				
	麻しん	4				

(イ) 同行者・関係者検病調査実施件数

分類	病名	調査数	接触者	便検査	患者	病原体保有者
3類	細菌性赤痢	1	1	1		
	腸管出血性大腸菌感染症	2	7	3		
4類	A型肝炎	2	2	1		

(ウ) 社会福祉施設における集団発生の調査・指導件数

施設種別	件数	備考 *数字は発生件数
高齢者施設	10	インフルエンザ 4 ノロウイルス 5 感染性胃腸炎 1
障がい者施設	1	インフルエンザ 1
保育所	6	インフルエンザ 6

(エ) 講演会

開催日	内 容	対 象 者	参加者(人)	講 師
6月7日	結核について	住民	20	医師
7月11日	PPEの着脱講習	高病原性鳥インフルエンザ対策訓練参加者	70	保健師
12月12日	結核について	管内事業所	40	医師 保健師
2月25日				

(オ) 感染症発生動向調査事業(昭和56年度～)

昭和56年7月から18疾病を対象に開始された本事業は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の施行に伴い、感染症の発生情報の正確な把握と分析、その結果の国民や医療関係者への的確な提供・公開について、法による施策として位置づけられました。

定点把握対象の5類感染症については、患者情報等を収集するため、定点医療機関をあらかじめ選定しています。

- a 定点把握対象疾病 28疾病
- b 定点医療機関
 - (a)インフルエンザ定点 17か所(うち11か所は小児科定点が兼任)
 - (b)小児科定点 11か所
 - (c)眼科定点 3か所
 - (d)STD定点 4か所
 - (e)基幹定点 1か所

(カ) インフルエンザ施設別発生状況調査(昭和48年度～)

インフルエンザによる学校・学級閉鎖状況(平成23年度は集団風邪も含む)

区 分	平成24年度					平成23年度				
	施設数	閉 鎖 数			欠席者数	施設数	閉 鎖 数			欠席者数
		学級	学年	施設			学級	学年	施設	
総 数	121	119	22	1	1,195	180	232	23	2	2,625
幼 稚 園	12	8	5		90	15	20		2	215
小 学 校	84	92	7	1	736	140	183	21		2,010
中 学 校	19	14	9		309	24	29	1		319
その他の学校	6	5	1		60	1		1		81

(4) 性感染症予防（昭和23年度～）

性感染症予防・啓発

性感染症（エイズを含む）の正しい知識の普及のために、中学生・高校生を対象に青少年エイズ性感染症予防のための講演会を開催しました。

青少年エイズ・性感染症予防講演会の開催状況（昭和40年度～）

実施日	実施校名	参加者 (学年)(人数)		講師
6月6日	海老名市立海老名中学校	3	139	当所 保健師
7月2日	座間市立西中学校	3	270	当所 保健師
7月3日	厚木市立睦合中学校	2	178	当所 保健師
7月4日	海老名市立大谷中学校	3	194	当所 保健師
7月5日	海老名市立有馬中学校	3	188	当所 保健師
7月5日	厚木市立南毛利中学校	3	250	当所 医師
7月9日	海老名市立今泉中学校	3	183	当所 保健師
12月19日	厚木市立依知中学校	3	151	助産師 張ヶ谷智子
2月25日	厚木市立厚木中学校	3	238	当所 保健師
2月26日	厚木市立相川中学校	3	105	当所 保健師
2月27日	海老名市立柏ヶ谷中学校	3	188	当所 保健師
3月1日	厚木市立藤塚中学校	3	156	当所 医師
3月1日	座間市立南中学校	3	121	当所 保健師
3月4日	厚木市立玉川中学校	3	194	健康教育アドバイザー 山田七重
3月5日	座間市立座間中学校	3	152	助産師 張ヶ谷智子
中学校 小計 15校		2,707人		
6月26日	座間高等学校	1	280	当所 保健師
7月5日	中央農業高等学校	1	195	当所 医師
7月12日	厚木商業高等学校	3	254	当所 保健師
9月21日	座間養護学校 有馬分教室	1～3	37	助産師 張ヶ谷智子
9月25日	厚木清南高等学校	1	234	当所 保健師
9月25日	座間総合高等学校	1	243	助産師 張ヶ谷智子
9月26日	厚木清南高等学校（定時制）	1～4	200	当所 医師
10月9日	愛川高等学校	3	213	当所 保健師
11月2日	有馬高等学校	1	273	助産師 張ヶ谷智子
11月28日	厚木高等学校	2	321	当所 医師
3月8日	厚木北高等学校	1	284	当所 保健師
3月18日	厚木西高等学校	1	239	当所 保健師
高等学校 小計 12校		2,773人		
合計 27校		5,480人		

(5) エイズ予防事業

ア エイズ予防・啓発（平成5年度～）

エイズの正しい知識の普及・啓発とエイズに対する偏見や差別のない社会の実現を目指して啓発用チラシやパンフレットの配布を行いました。

各種イベントへの参加による啓発

実施日	イベント名	内 容	配布数(部)
6月3日	あいかわ健康の日 2012	・エイズ・性感染症予防パンフレット、保健福祉事務所検査のお知らせ、グッズの配布	100
10月20日	東京工芸大学「工芸祭」	・平成23年度に実施したエイズに関するクイズの答え及び回答者の正答率をポスター形式で掲示 ・エイズ検査に関するアンケートの配布及び回収 ・パンフレット・予防啓発グッズの配布、ポスターパネルの展示	300

イ エイズ検査・相談(昭和61年度～)

エイズの感染予防及び県民の不安や疑問に対応するため、昭和62年2月からエイズの抗体検査を行っています。また、昭和61年4月から保健所に相談窓口を設置し、相談に応じています。平成18年6月以降、即日検査を実施しています。

(ア) エイズ相談・検査実施の推移

区分	年度										
	昭和62	平成15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
相談	152	361	599	530	575	551	768	711	837	400	529
検査	113	153	196	155	262	349	425	289	273	220	220

(イ) 平成24年度エイズ検査（性・年齢別）実施状況

性別	年齢							
	総計	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	
男	140	9	45	43	26	11	6	
女	80	10	33	27	8	0	2	
計	220	19	78	70	34	11	8	

(6) 肝臓疾患対策事業（平成7年度～）

ア 講演会・相談会

肝臓疾患に関する正しい知識の啓発普及を図るため、講演会・相談会を開催しました。

実施日	場 所	内 容	参加者 (人)
10月4日	大和保健福祉事務所 講堂	・講演会 「肝臓病」 - 最近の話題 - B型、C型肝炎の治療 肝臓の予防、再発の予防 注目されている肝臓病 講師 せんぼ東京高輪病院 院長 与芝 真彰 ・相談会	20

イ B型(抗原)・C型(抗体)肝炎ウイルス検査

ウイルス性肝炎の重症化防止等のためにB型及びC型の肝炎ウイルス検査を行いました。

	B型	C型
検査者	1	0
陽性者	0	0

ウ 肝炎治療医療費助成

神奈川県肝炎治療医療給付実施要綱に基づき、B型及びC型の肝炎ウイルスのインターフェロン治療、B型肝炎ウイルスの核酸アナログ製剤治療を行う者に対して、医療給付等の申請について県への経由事務を行いました。

肝炎治療医療費助成申請件数 新規196件

3 メンタルヘルス対策の充実

(1) 精神保健福祉事業

ア 精神保健福祉相談・訪問（昭和 32 年度～）

(ア) 把握区分

区 分	人 数		
	実人数	うち新規	延人数
訪問指導	58	11	200

(イ) 担当者

区 分	総 数	医 師	福祉職	保健師	その他
相 談	1,749	76	843	600	230
訪問指導	224	11	86	118	9

(ウ) 診断

区分	実 人 数 人	器 質 性 精 神 障 害	ア ル コ ー ル に よ る 障 害	覚 せ い 剤 等 他 の 薬 物	統 合 失 調 症	気 分 障 害	ス ト レ ス 関 連 障 害	生 理 的 障 害 等	成 人 の 人 格 ・ 行 動 障 害	精 神 遅 滞	心 理 的 発 達 の 障 害	小 児 期 ・ 青 年 期 の 障 害	て ん か ん	診 断 保 留	精 神 障 害 と 認 め ず	未 受 診	不 明
相談	628	23	28	10	124	72	48	2	10	8	7	1	8	10	9	125	143
訪問	58	3	1	2	29	3	4	0	1	0	0	0	1	2	1	8	3

(エ) 相談種別

区 分	延人数	治 療 の 問 題	生 活 上 の 問 題	社 会 参 加 の 問 題	心 の 健 康 問 題	そ の 他
相 談	1,655	817	548	29	67	194
訪問指導	200	75	101	20	1	3

(オ) 相談者

区 分	総 数	本 人	家 族	医 療 機 関	市 町 村	そ の 他
相 談	1,699	704	526	99	98	272
訪問指導	368	153	82	30	38	65

(カ) 援助方法

総 数	所内面接	電 話	文 書	訪 問
1,846	203	1,433	10	200

イ 教育広報活動

(ア) 普及啓発

a 講演会

実施日	内 容	場 所	対 象	参加者 (人)
7月9日	健康教育 「腰痛について・熱中症 について」	ウインディーザマ	地域活動支援センタ ー通所者	12
2月14日	健康教育 「上手に付き合おう！ アルコール」	神奈川工科大学	学生、教職員	71
3月25日	健康教育 「骨粗しょう症について」	ウインディーザマ	地域活動支援センタ ー通所者	10

b 市町村主催普及啓発活動への支援

実施日	主催市町村	内 容
6月3日	愛川町	愛川町健康祭り（パネル展示、リーフレット配布）
6月21日	清川村	やまびこ祭り（パネル展示、リーフレット配付）
11月17日	厚木市	こころのふれあいフェスタ小鮎 「誰にも身近なこころの病気」講演会他
10月27日	海老名市	海老名市 心のバリアフリー2012 ～かかわり・つながり・ささえあい～ 講演会他
3月22日	愛川町	J A 県央愛川有線放送出演 「こころの健康について」

(イ) 精神保健福祉協力者（ボランティア）の育成（平成7年度～）

実施日	内 容	対 象	援助 回数	延参加者 (人)
10月12日	海老名市精神保健ボランティア講 座「精神保健ボランティアの役割」	海老名市民、ボランテ ィア	1	12
11月7日	愛川町ボランティア講座「いま、 ボランティア活動に求められてい ること」	愛川町民、ボランティ ア	1	15

社会福祉協議会等が主催したものに協力

ウ 組織育成活動（昭和52年度～）

精神保健福祉関係団体

区 分	援 助 内 容	援助回数
精神障害者家族会	総会、会の運営助言	2
断 酒 会	酒害相談員研修会	1
自立支援サービス事業所	・地域活動支援センター等の運営委員会等への参加、市町村窓口との連携、対応方法の検討 ・相談支援事業所等への運営助言及び援助	19

エ 社会復帰の援助等

(ア) 本人・家族を対象とした教室（昭和47年度～）

区 分	内 容	開催 参加 回数	参加 延人数
家族教室（当所）	統合失調症と再発予防、就労支援、当事者の話	3	55
生活教室（海老名市）	スポーツ、陶芸、所外活動 他（月1回）	11	73
生活教室（愛川町）	調理実習、ミーティング、ハイキング他（月1回）	10	54
家族教室（海老名市）	統合失調症について、家族のこころの健康について 他	2	29
家族のつどい（愛川町）	話し合い、社会資源について他	2	9

海老名市、愛川町の生活教室、海老名市家族教室、愛川町家族のつどいは市町と共催で実施

(イ) その他の事業

区 分	内 容	開催 回数	参加者（人）	
			実数	相談 延数
地域青少年支援 フォーラム&個別相談会	講師による講話、個別相談会、 懇談会	1	42	26

青少年センターと共催で実施

オ 医療保護関係事務

(ア) 精神保健診察 (法27条)

精神保健福祉法に基づく申請、通報に対し精神保健福祉センター兼務職員として調査等を行いました。

区 分	件数	調査	指 定 医 診 察 結 果				受療指導等
			要措置	不 要 措 置			
				医保入院	任意入院	入院外診療	
23条							
24条	69	27 (42)	20 (32)	1 (1)		1 (2)	5 (7)

()は24条対応時間外で精神保健福祉センター職員による調査

(イ) 精神科病院実地指導・実地審査 (法38条の6) (平成9年度～)

a 精神保健福祉法に基づく精神科病院に対する実地指導

総施設数	厚木市	座間市	清川村
5	3	1	1

b 精神保健福祉法に基づく実地審査

(措置入院者及び医療保護入院者等の精神保健指定医による診察)

施設数	実人数	審 査 結 果							
		措置入院		医療保護入院			任 意 入 院		
		継続	措置不要	継続	移行	入院不要	継続	移行	入院不要
5	30	2		20			7	1	

c 措置入院者新規審査 該当なし

施設数	実人数	審 査 結 果	
		措 置 継 続	措 置 不 要

(ウ) 医療機関から法定の届出等受理件数

区 分	合計(件)
医療保護入院者入院届 (法第33条第1項)	723
医療保護入院者入院届 (法第33条第2項)	226
医療保護入院者退院届 (法第33条の2)	488
定期病状報告書 (医療保護入院者)	408
定期病状報告書 (措置入院者)	1

カ 会議等

(ア) 地域精神保健福祉連絡協議会 (平成8年度～)

開催日	内 容	対象委員	参加者 (人)
2月5日	<ul style="list-style-type: none"> 管内の状況について 県の精神保健福祉に係る計画について 障害者虐待防止法に係る対応状況について 自殺対策事業について 意見交換 	医療機関、市町村、社会復帰施設、社会復帰関係団体、学識経験者、精神保健福祉センター	22

(イ) 地域精神保健福祉連絡協議会実務担当者会議 (平成9年度～)

実施日	内 容	出席者	参加者 (人)
9月12日	地域支援者スキルアップ研修 <ul style="list-style-type: none"> 講義「統合失調症の理解を深める講座～関わり方のツボを知ろう」 講師 精神保健福祉センター 精神保健担当部長 山田正夫 	市町村、医療機関、相談支援事業所、訪問看護ステーション、自立支援法関連事業所等	72

(ウ) 市町村支援

a 市町村精神保健福祉業務連絡会議 (平成12年度～)

開催日	内 容	出席者	会 場	参加者 (人)
5月28日	<ul style="list-style-type: none"> 23年度事業実績 24年度事業計画について 	市町村精神保健福祉担当課長・自殺対策担当課長・担当者、精神保健福祉センター職員	厚木合同庁舎・会議室	19
10月9日	<ul style="list-style-type: none"> 23年度自殺対策の現状 研修「地域移行支援、地域定着支援の活用」 			15
1月28日	<ul style="list-style-type: none"> 25年度計画について他 			14

b 市町村との連携及び協力 (打合せ・連絡会・事業への協力等)

回 数	39回
-----	-----

c 市町村職員等への研修

研 修 名	回 数	参加者(人)	備 考
地域支援体制推進研修会	1	79	対象：地域関係者等

(工) 厚木保健福祉事務所管内精神保健福祉地域交流会 (平成10年度～)

実施日	内 容	場 所	対 象	参加者 (人)
10月19日	文化祭	海老名市総合福祉会館・文化会館	管内の自立支援法内施設・デイケア・生活教室に参加している精神障害者	299

関係機関から実行委員を募り、実行委員会を9回開催し実施

(オ) 県央地区精神科医療機関連絡会 (平成16年度～)

実施日	内 容	場 所	対 象	参加者 (人)
3月5日	・各機関の状況について ・情報交換	厚木合同庁舎 会議室	管内の5病院、 5市町村	19

(カ) ひきこもり関係機関連絡会 (平成18年度～)

実施日	内 容	場 所	対 象	参加者 (人)
3月1日	・各関係機関のひきこもりへの対応 ・情報交換・意見交換	厚木合同庁舎・会議室	厚木保健福祉事務所管内の市町村、青少年相談室、県青少年センター、精神保健福祉センター	20

(キ) 厚木保健福祉事務所管内警察署連絡会議 (平成18年度～)

実施日	内 容	場 所	対 象	参加者 (人)
2月13日	精神保健福祉法第24条について ・管内の状況 ・各機関意見交換	厚木合同庁舎 会議室	厚木・海老名・座間警察署、精神保健福祉センター救急情報課	10

キ 自殺対策事業

(ア) 水と緑といのちの地域ネットワーク会議

開催日	内 容	出席者	会 場	参加者 (人)
7月10日	ネットワーク会議 ・当所管内の自殺ハイリスク地域の対策について 講師・助言者： 東海大学 健康科学部看護学科教授 錦戸 典子 公開講座 帝京大学医学部教授 張 賢徳	管内市町村自殺対策主管課長、相模原市自殺対策主管課長、県保健予防課長、精神保健福祉センター所長等		25
6月25日	担当者部会 ・情報交換、具体的な方策の検討	管内市町村自殺対策主管課担当者・県保健予防課精神保健福祉センター、関係機関職員	厚木合同庁舎・会議室	26
9月24日	担当者部会 ・情報交換、具体的な方策の検討			27
2月20日	担当者部会 ・情報交換、具体的な方策の検討 公開講座 自殺予防総合対策センター 松本 俊彦			29

(イ) ゲートキーパー研修

対 象	開 催 回 数	参加者 (人)
水と緑といのち地域ネットワーク会議関係者	7	219
断酒会、認知症家族会等関係団体、地域支援関係者	4	183
理美容組合	2	349
事業所の人事管理担当者、健康管理担当者等（*働く人のメンタルヘルス研修）	1	219

* 厚木労働基準監督署、大和保健福祉事務所、精神保健福祉センターと共催

(ウ) 市町村との連携及び協力

自殺対策会議等出席	7回
キャンペーン等普及啓発事業参加	3回

4 認知症疾患対策の充実

(1) 認知症疾患対策保健所事業（昭和58年度～）

高齢化が進む中で認知症高齢者が増加しています。また若年性認知症疾患も増加しているため、高齢者に限らず認知症疾患に関する相談を中心に活動を実施しました。

ア 認知症疾患相談事業

(ア) 相談内容

区 分	相談件数実数	相談件数延数	相 談 内 容 (延数)							計延件数
			疾病一般	問題行動	治療関係	看護介護	入院入所	福祉サービス	その他	
総 数	66	104	32	60	39	18	7	6	9	171
精神科医の定例相談	18	21	12	18	8	8	2	2	2	52
保健師・福祉職の随時相談	48	83	20	42	31	10	5	4	7	119

(イ) 相談の対象と方法

区分	相談件数 (計)	相談の対象		相談の方法			
		新規相談	継続相談	電話	面接	訪問	その他
総 数	104	66	38	68	32	1	3
定例相談	21	18	3		20	1	
随時相談	83	48	35	68	12		3

イ 認知症疾患訪問指導

訪問数 14(3)

()内は実数

ウ 高齢者虐待(再掲)

(ア) 相談件数・内容

区 分	実相談件数	相 談 内 容 (延数)						計延件数
		身体虐待	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待	放棄 介護・世話の その他	その他	
総 数	1	1				1	2	
定例相談								
随時相談	1	1				1	2	

(イ) 訪問指導 該当なし

件 数

エ 組織育成活動

家族会

区 分	家 族 会 名	支援回数	内 容	参加者(人)
厚 木 市	すみれ会	2	総会・話し合い、講演会	30
海 老 名 市	四ツ葉のクローバー	1	総会・話し合い	22
座 間 市	手をつなぐ介護者の会	1	総会・話し合い	35

オ 講演会

実 施 日	内 容	参加者(人)
25年2月1日	認知症の理解と対応 清川遠寿病院 院長 岩本 誠	77

5 難治性の疾患対策の充実

(1) 難病患者地域ネットワーク支援事業（平成10年度～）

厚生省の難病特別対策推進事業要綱に基づき、難病患者等の療養上の不安解消を図るとともに、関係機関との連携により適切な在宅療養支援を行い、患者家族の生活の質の向上を目的として実施しました。

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

重症患者の個別支援の充実及び在宅療養における保健・医療・福祉の連携を深め、総合的な支援体制の構築を図るため実施しました。

(ア) 在宅療養支援計画策定・評価委員会（難病委員会・難病実務担当者会議）

実施日	出席者	内 容	出席委員 (人)
7月3日	訪問看護事業所 居宅介護支援事業所 各市町村障がい福祉担当課	< 難病実務担当者会議 > 1 難病患者の災害時要援護者の支援の取組について 2 災害時個別支援計画の作成と活用について	16
12月14日			13
2月28日	医師会 専門病院 地域病院 訪問看護事業所 居宅介護支援事業所 各市町村障がい福祉担当課	< 難病委員会 > 1 厚木保健福祉事務所における難病患者への支援状況 2 難病患者における災害時支援体制づくりと連携のあり方について 3 災害時個別支援計画の取組・評価について	28

(イ) 難病従事者研修会

実施日	内 容	講 師	参加者 (人)
1月10日	災害時での難病患者支援における対応と取組	前北里大学 藤田 美江 厚木保健福祉事務所職員	20

イ 医療相談事業（昭和 55 年度～）

患者及び家族の療養上の不安を軽減するために講演会・相談会を実施しました。

実施日	内 容	講 師	参加者 (人)
5 月 23 日	網膜色素変性症患者のつどい	網膜色素変性症患者会 厚木保健福祉事務所職員	37
9 月 25 日	健口体操と快感ブラッシング 講習会	厚木保健福祉事務所職員	6
11 月 13 日	脊髄小脳変性症講演会	鶴巻温泉病院 第 4 診療部長 小野寺 直樹 かながわ SCD・MSA 友の会 役員 杉山 憲行	55

ウ 訪問相談事業（平成 10 年度～）

医療相談等の事業に参加できない要支援難病患者について患者家族の精神的負担の軽減、QOLの向上を図るため訪問相談員を派遣し、個別の相談・指導・助言を行いました。

相談員	相談回数	相談者（延べ人数）
保健師	34（そのうち更新時 15 回）	51

(2) 難病患者等居宅生活支援事業（平成 9 年度～）

難病患者等の多様化するニーズに対応した適切なホームヘルプサービスを提供するため、難病患者等ホームヘルパー養成研修を大和・秦野・足柄上保健福祉事務所と共催で開催しました。

実施日	内 容	講 師	修了者数 (人)
11 月 26 日	難病の基礎知識	神奈川リハビリテーション病院 神経内科部長 長友 秀樹	計 26 当所管 内受講 者 4
	難病患者の心理・家族の理解	日本 ALS 協会神奈川県支部 岸川 紀美恵	
	難病の保健・医療・福祉制度	足柄上保健福祉事務所職員	

(3) 特定疾患医療援護

ア 特定疾患医療費給付

神奈川県特定疾患医療給付実施要綱に基づき、入院通院をして治療を受けた者に対して、医療給付等の申請について県への経由事務を行いました。

特定疾患医療費給付申請件数 新規361件

特定疾患医療受給者数

(単位：人)

疾患名	市町村名	総数	合計		厚木市		海老名市		座間市		愛川町		清川村		
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
	総数	3005	1307	1698	555	686	283	411	356	419	95	166	8	16	
血液系	6 再生不良性貧血	38	19	19	8	7	5	3	6	7		2			
	10 特発性血小板減少性紫斑病	89	23	66	7	29	8	19	4	7	4	11			
	35 原発性免疫不全症候群	6	4	2	2	1				1	2				
	小計	133	46	87	17	37	13	22	10	15	6	13			
免疫系	1 ベーチェット病	57	24	33	9	18	5	8	8	3	2	4			
	4 全身性エリテマトーデス	298	22	276	10	116	5	75	5	58	2	27			
	9 強皮症・皮膚筋炎及び多発性筋炎	163	38	125	19	39	7	37	7	32	4	15	1	2	
	11 結節性動脈周囲炎	38	18	20	5	9	5	2	5	6	3	3			
	13 大動脈炎症候群	15	1	14	1	5		3		4		1		1	
	14 ビュルガー病(パージャー病)	19	19		5		9		4		1				
	19 悪性関節リウマチ	36	13	23	2	7	1	5	8	8	2	3			
	25 ウェゲナー肉芽腫症	10	3	7	2	3		2	1			2			
小計	636	138	498	53	197	32	132	38	111	14	55	1	3		
内分泌系	間脳下垂体機能障害 1 PRL分泌異常症 2 ゴナドトロピン分泌異常症 3 ADH分泌異常症 4 下垂体性TSH分泌異常症 5 クッシング病 6 先端巨大症 7 下垂体機能低下症	56	27	29	14	8	6	10	7	10				1	
	小計	56	27	29	14	8	6	10	7	10				1	
	代謝系	21 アミロイドーシス	3	1	2		2	1							
		46 家族性高コレステロール血症 (ホモ接合体)													
		小計	3	1	2		2	1							
	神経・筋	2 多発性硬化症	49	16	33	6	14	6	9	3	7	1	2		1
		3 重症筋無力症	70	28	42	13	19	5	9	9	8	1	5		1
		8 筋萎縮性側索硬化症(ALS)	27	19	8	6	3	4	2	5	3	3		1	
16 脊髄小脳変性症		90	42	48	20	22	9	10	10	11	3	5			
20 パーキンソン病関連疾患		365	166	199	63	76	32	35	55	66	14	18	2	4	
23 ハンチントン病		1	1						1						
24 モヤモヤ病		59	15	44	6	17	3	11	4	12	2	3		1	
27 多系統萎縮症		41	24	17	11	6	4	5	9	4		2			
38 プリオソン病															
41 亜急性硬化性全脳炎(SSPE)		1	1						1						
45 副腎白質ジストロフィー															
47 脊髄性筋萎縮症															
48 球脊髄性筋萎縮症		3	3		3										
49 慢性炎症性脱髄性多発神経炎	8	4	4	1	2	1	2	1		1					
小計	714	319	395	129	159	64	83	98	111	25	35	3	7		
37 網膜色素変性症	154	60	94	28	44	10	24	15	16	6	9	1	1		
	小計	154	60	94	28	44	10	24	15	16	6	9	1	1	

疾患名	市町村名	総数	合計		厚木市		海老名市		座間市		愛川町		清川村		
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
循環器系	26	特発性肥大型(うっ血型)心筋症	83	70	13	26	4	13	4	28	3	3	1		1
	44	ライソゾーム病	5	4	1	2					1	2			
	50	肥大型心筋症	2		2		1						1		
	51	拘束型心筋症													
	52	ミトコンドリア病	5	3	2	1	1	1		1	1				
	小計	95	77	18	29	6	14	4	29	5	5	2		1	
呼吸器系	7	サルコイドーシス	50	21	29	7	8	9	4	12	1				
	36	特発性間質性肺炎	23	14	9	8	2	1	1	4	4	1	2		
	39	肺動脈性肺高血圧症	13	6	7	3	3	1	1	1	2	1	1		
	43	慢性血栓性肺高血圧症	6	1	5		2	1	2				1		
	53	リンパ脈管筋腫症	4		4		2		1		1				
	小計	96	42	54	18	17	12	14	9	19	3	4			
消化器系	12	潰瘍性大腸炎	643	354	289	173	119	73	64	87	74	19	31	2	1
	17	クローン病	144	106	38	54	16	19	9	25	8	7	5	1	
	18	劇症肝炎	1	1		1									
	31	原発性胆汁性肝硬変	81	11	70	7	23	3	24	1	18		4		1
	32	重症急性膵炎	10	9	1	2	1	3		2		2			
	42	バッド・キアリ症候群	1	1				1							
	小計	880	482	398	237	159	99	97	115	100	28	40	3	2	
皮膚・結合組織	15	天疱瘡	18	9	9	4	6	4	2	1	1				
	28	表皮水疱症	1		1						1				
	29	膿疱性乾癬	5	3	2	1	1	1		1	1				
	34	混合性結合組織病	48	4	44	1	23	2	4	1	13		3		1
	40	神経線維腫症(型型)	10	4	6	1	3	1		2	3				
	54	重症多形発疹性紅斑(急性期)													
	小計	82	20	62	7	33	8	6	5	19		3		1	
骨・関節	22	後縦靱帯骨化症	83	56	27	19	13	14	5	19	8	4	1		
	30	広範脊柱管狭窄症	5	3	2		1	1		2	1				
	33	特発性大腿骨頭壊死症	64	33	31	12	10	8	13	9	4	4	4		
	55	黄色靱帯骨化症	3	2	1	1		1	1						
		小計	155	94	61	32	24	24	19	30	13	8	5		
	5	スモン	1	1		1									
	小計	1	1		1										

(4) 先天性血液凝固因子障害医療給付(平成元年度～)

平成2年1月1日施行の神奈川県先天性血液凝固因子障害医療給付実施要綱に基づき、入院及び通院をして治療を受けた者に対して医療給付の申請について県への経由事務を行いました。

先天性血液凝固因子障害医療給付申請件数 1件

6 原爆被爆者健康管理及び福祉対策事業

被爆者健康手帳、健康診断受診者証並びに各種手当の申請等について県への經由事務を行いました。原爆被爆者等の定期健康診断を年2回（5月と11月）実施しました。

(1) 被爆者健康手帳等交付状況

区 分	既交付	新規交付	合計	平成25年3月31日 現在の交付数
総 数	462	8	470	470
被 爆 者 健 康 手 帳	196		196	196
第 1 種 健 康 診 断 受 診 者 証	3		3	3
第 2 種 健 康 診 断 受 診 者 証	4		4	4
被爆者のこども健康診断受診証	259	8	267	267

(2) 被爆者健康診断受診状況

区 分	総 数	被爆者	被爆者の こども	要精検者	要治療者
平成 22 年度総数	12	10	2	5	
平成 23 年度総数	10	9	1	5	
平成 24 年 度	総 数	11	8	3	3
	第 1 回	7	5	2	2
	第 2 回	4	3	1	1

7 石綿による健康被害の救済支援事業

(1) 相談対応状況（平成17年7月～）

石綿（アスベスト）による健康被害に関して、県民の不安解消のための相談対応を実施しました。

相談件数	主 な 相 談
3	健康相談、アスベスト救済法相談等 累計50件

(2) 申請状況

「石綿による健康被害の救済に関する法律」（平成18年法律第4号）に基づき、石綿（アスベスト）による健康被害を受けられた方及びそのご遺族で、労災補償等の対象とならない方に対して、救済給付の支給を行うための認定申請の受付、送付（独立行政法人 環境再生保全機構）を行いました。

申請件数	申 請 内 容
1	認定申請・療養手当請求

8 地域保健師業務連絡会議等実施状況

(1) 地域保健師業務連絡会議総会

開催日	内 容	参加者(人)
5月14日	議題 (1)平成23年度地域保健師業務連絡会議実績報告及び平成24年度事業計画について (2)保健福祉事務所・市町村の新規事業及び重点事業等について (3)平成23年度の学会発表等について (4)災害時の保健活動について	25

(2) 管内保健師研究会

開催日	内 容	参加者(人)
8月8日	第1回「被災地における保健活動の実際」 (ブロック研修同時開催) 「福島県相馬市を視察して」 当所保健福祉課長 堀 弘子 千葉県旭市高齢者福祉課 大久保 綾子	32
9月24日	災害時における在宅療養者及び家族への支援 ～平常時の準備と関係機関連携について～ (保健衛生研修およびブロック研修同時開催) 日本ALS協会宮城県支部患者ご家族 元北里大学看護学部准教授 藤田 美江	48 (他職種含む)
10月12日	第2回「平常時からの災害対策を考える」 (ブロック研修同時開催) 相模原市保健所 地域福祉課 高橋 こずえ 国立保健医療科学院 生涯健康研究部 上席主任研究官 奥田 博子	31
11月22日	図上訓練「災害時の保健活動の実際を考える」 (ブロック研修同時開催) 当所保健福祉課長 堀 弘子	22
12月13日	事業所における効果的な出前健康講座について (ブロック研修同時開催) HSプランニング代表 保健師 亀ヶ谷 律子	18

(3) 管内中堅期保健師研修

開催日	内 容	参加者(人)
3月19日	「中堅期保健師に育成したい力」 国際医療福祉大学 看護学科長 荒木田 美香子教授	26

(4) 代表幹事会

開催日	内 容	参加者(人)
3月26日	・平成24年度地域保健師業務連絡会議について ・平成25年度地域保健師業務連絡会議の計画について	9

9 保健師業務

(1) 家庭訪問

総 数	種 別																				
	感 染 症	結 核	精 神 障 害	心身障害					生活習慣病		難 病	小児特定				そ の 他 疾 病	未熟児		妊 産 婦	そ の 他	
				1 歳 未 満	6 歳 未 満	18 歳 以 下	39 歳 以 下	40 歳 以 上	39 歳 以 下	40 歳 以 上		1 歳 未 満	6 歳 未 満	18 歳 未 満	18 歳 以 上		1 歳 未 満	1 歳 以 上			
実数 (人)	693	6	33	29	6	16	3	0	0	1	0	32	7	3	1	0	14	425	92	5	20
延数 (人)	1,374	11	53	120	37	33	10	0	0	1	0	80	12	15	1	0	45	705	188	15	38

訪問内容別再掲															
精神障害			特定疾患					介護保険		児 童 虐 待	小児アレルギー疾患				高 齢 者 虐 待
社 会 復 帰	老 人 性 認 知 症	ア ル コ ー ル	膠 原 病	血 液 系	循 環 器	神 經 系	消 化 器	専 門 調 査	苦 情 等 調 査		喘 息	皮 膚 炎	ア ト ピー 性	ギ ー の 疑 い	
12	2		1			26				46					
54	2		2			73				196					

(2) 所内指導

項 目	計	感 染 症	結 核	精 神 障 害	老 人 性 認 知 症	心 身 障 害	障 害 児	生 活 習 慣 病	難 病	小 児 特 定	そ の 他 の 疾 病	妊 産 婦	妊 産 婦	未 熟 児	乳 児	幼 児	思 春 期	工 イ ズ	女 性 の 健 康	そ の 他
面接 (人)	578	4	70	108	8	2	34		190	18	8		1	127	1	2		5		
電話 (人)	3,831	119	226	470	25		300	10	299	110	13		37	2,008	25	119	3	35	12	20
文書 メール (人)	430		23	6			62		125	23	2		1	154		33		1		
合計 (人)	4,839	123	319	584	33	2	396	10	614	151	23		39	2,289	26	154	3	41	12	20

(3) 家庭訪問以外の保健活動

項目	合計	健康相談	集団検診	健康教育	デイケア	地区組織活動
開設回数(回)	323	37	93	137	11	45
指導延人員(人)	11,084	580	335	9,304	73	792

10 保健福祉サービス連携調整会議

管内における関係機関、団体等の連携により行われる各種保健福祉サービスの効果的かつ円滑な推進を図るため、委員会・協議会を開催しました。

平成 24 年度厚木保健福祉事務所保健福祉サービス連携調整会議
(委員会・協議会の総称)

- (1)

母子保健委員会

 —————

実務担当者会議等

- 保健福祉課 1回 保健福祉課 3回
- 医師会代表 医療機関関係者 児童相談所職員
行政機関職員
-
- (2)

地域食生活対策推進協議会

 —————

実務担当者会議等

- 保健福祉課 1回 保健福祉課 2回
- 医師会代表 学識経験者 労働基準監督署 管理栄養士
地域関係団体 行政機関職員 企業・大学
-
- (3)

地域精神保健福祉連絡協議会

 —————

実務担当者会議

- 保健予防課 1回 保健予防課 1回
- 病院・診療所医師 家族会 自立支援事業所
相談支援事業所 社会福祉協議会 行政機関職員
-
- (4)

歯及び口腔の健康づくり推進委員会

 —————

実務担当者会議等

- 保健福祉課 1回 保健福祉課 2回
- 歯科医師会代表 歯科衛生士会代表 地域包括支援センター
学識経験者 行政機関職員 健口体操普及員 食生活改善推進団体 健康普及員
-
- (5)

難病委員会

 —————

実務担当者会議

- 保健予防課 1回 保健予防課 2回
- 医師会代表 医療機関関係者 訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所 行政機関職員 学識経験者

*平成 23 年 12 月 1 日 歯科保健推進委員会から、歯及び口腔の健康づくり推進委員会に変更

第3章

健康で快適な生活環境の確保

1 食品保健対策の充実	66
2 環境保健対策の充実	72
3 医薬品等安全対策の充実	77

1 食品保健対策の充実

食生活の多様化、流通の国際化が進む中、多種多様な食品が出回り、食品の安全性への関心がますます高まっています。食中毒等、食品による危害の発生を防止し、地域において安心できる食生活を確保するため、次の事業を実施しました。

(1) 食品関係営業施設の監視指導

管内の営業施設数は13,425。県央中核都市域に位置し、東名高速道路等全国へつながる交通の要衝としての立地条件から大規模製造業も多く、広域に流通する食品の安全確保についても力を入れてきました。また、給食施設に対しても集団食中毒防止のため徹底した指導を実施しました。

ア 許可営業施設(政令)

業種	区分	地区別施設数						申請件数		廃業件数	監視指導件数	
		総数	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村	移動営業	新規			更新
飲食店営業		4,208	2,055	917	731	378	50	77	387	350	390	2,002
菓子(パンを含む)製造業		314	131	79	58	29	7	10	31	19	17	143
乳処 理 業		3	1	2					1	1	1	5
乳製品製造業		7	3	4					1		1	4
魚介類販売業		487	247	107	80	51	2		56	36	43	370
食品の冷凍又は冷蔵業		32	18	6	3	5			4	3		28
缶詰又は瓶詰食品製造業		3	1			2						2
喫茶店営業		1,203	676	225	152	144	6		79	168	179	227
アイスクリーム製造業		5	3	1		1			1		1	6
乳類販売業		1,073	532	250	166	116	8	1	91	129	114	508
食肉処 理 業		35	20	8	3	4			2	2	3	48
食肉販売業		549	277	112	86	57	10	7	69	40	54	410
食肉製品製造業		7	5	1		1				1		13
食用油脂製造業		2	1			1						2
マ-ガリ-ン・ショ-ト-ニ-ン-ク製造業		1		1								1
みそ製造業		12	5	4	2		1			1		1
ソース類製造業		3	1			2			1			2
酒類製造業		6	4	1		1					1	4
豆腐製造業		15	4	4	6	1				1	1	8
納豆製造業		1		1								
めん類製造業		15	6	2	5	2			3		1	5
そうざい製造業		44	22	12	6	4			6	1	6	29
添加物製造業		3				3				1		3
清涼飲料水製造業		7	5	1		1				1	1	4
氷雪販売業		2	1		1							
合 計		8,037	4,018	1,738	1,299	803	84	95	732	754	813	3,825

イ 許可営業施設(条例)

業種	区分	地区別施設数						申請件数		廃業件数	監視指導件数
		総数	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村	移動営業	新規		
魚介類行商		2	1					1			
魚介類加工業		5	3	2					1		2 4
発酵乳等販売業		49	33	4	6	4	2			10	20 13
合計		56	37	6	6	4	2	1	1	10	22 17

ウ 届出営業施設

業種	区分	地区別施設数						監視指導件数	
		総数	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村		移動営業
給食施設	学校	45	19	4	12	9	1		68
	病院・診療所	9	7	1			1		10
	事業所	10	4	1	3	1	1		16
	その他	111	49	20	32	8	2		100
	小計	175	79	26	47	18	5		194
乳搾取業		51	17	17	6	11			1
食品製造業		216	113	44	21	31	6	1	84
野菜果物販売業		679	306	159	131	70	7	6	349
総菜販売業		588	296	129	96	59	8		355
菓子販売業		1,306	607	291	251	132	17	8	451
食品販売業		1,698	773	394	332	147	27	25	471
食品添加物製造業		3	2			1			
添加物販売業		121	61	24	23	13			56
器具・容器包装・おもちゃの製造業又は販売業		495	254	97	93	45	6		318
合計		5,332	2,508	1,181	1,000	527	76	40	2,279

エ 食品等輸入事務所等の届出

市町村名	地区別施設数						新規件数	廃止件数
	総数	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村		
施設数	10	6	3	1				

(2) 営業施設数の推移

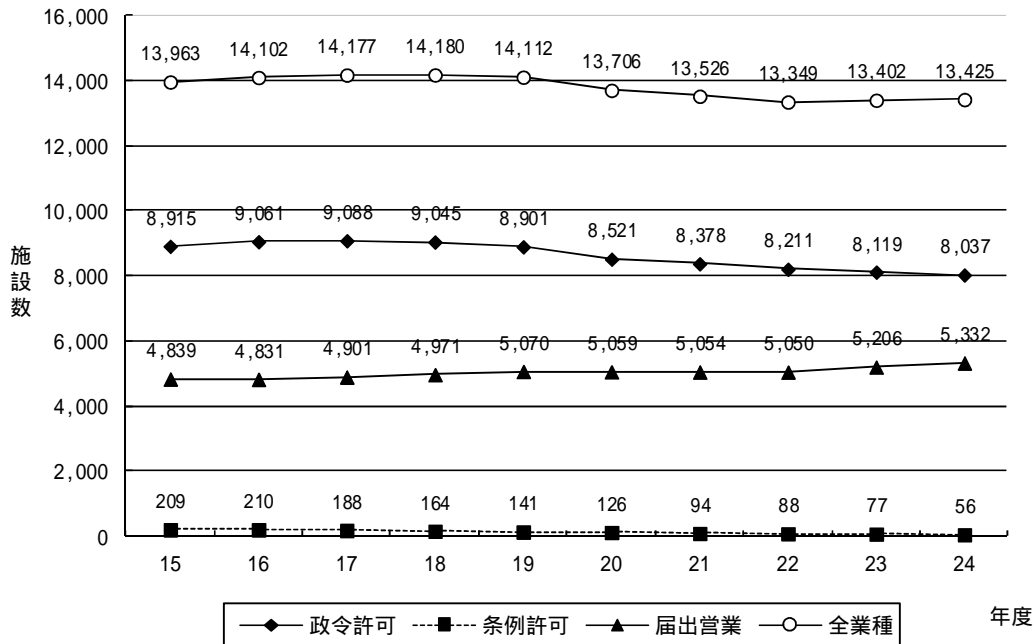
ア 市町村別営業施設数の推移

年度 市町村	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
厚木市	6,884	6,952	7,001	7,009	6,890	6,781	6,696	6,620	6,614	6,563
海老名市	2,962	2,963	2,990	2,987	2,975	2,841	2,794	2,801	2,867	2,925
座間市	2,501	2,486	2,482	2,472	2,474	2,379	2,371	2,314	2,311	2,305
愛川町	1,341	1,411	1,408	1,406	1,471	1,404	1,379	1,334	1,320	1,334
清川村	191	188	185	188	187	182	185	166	166	162
移動営業	84	102	111	118	115	119	101	114	124	136
合計	13,963	14,102	14,177	14,180	14,112	13,706	13,526	13,349	13,402	13,425

イ 許可・届出別営業施設数の推移

年度 市町村名	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
政令許可	厚木市	4,491	4,567	4,588	4,561	4,433	4,303	4,247	4,175	4,111	4,018
	海老名市	1,878	1,877	1,883	1,876	1,843	1,753	1,720	1,718	1,725	1,738
	座間市	1,527	1,533	1,524	1,523	1,508	1,410	1,386	1,340	1,323	1,299
	愛川町	891	932	935	921	956	892	864	815	792	803
	清川村	89	91	89	88	88	88	93	87	84	84
	移動営業	39	61	69	76	73	75	68	76	84	95
	合計	8,915	9,061	9,088	9,045	8,901	8,521	8,378	8,211	8,119	8,037
条例許可	厚木市	122	124	111	97	79	74	59	55	50	37
	海老名市	33	36	31	27	27	23	14	14	9	6
	座間市	25	26	25	20	16	12	8	7	6	6
	愛川町	20	20	17	16	15	13	10	9	9	4
	清川村	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2
	移動営業	6	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	合計	209	210	188	164	141	126	94	88	77	56
届出営業	厚木市	2,271	2,261	2,302	2,351	2,378	2,404	2,390	2,390	2,453	2,508
	海老名市	1,051	1,050	1,076	1,084	1,105	1,065	1,060	1,069	1,133	1,181
	座間市	949	927	933	929	950	957	977	967	982	1,000
	愛川町	430	459	456	469	500	499	505	510	519	527
	清川村	99	94	93	97	96	91	90	77	80	76
	移動営業	39	40	41	41	41	43	32	37	39	40
	合計	4,839	4,831	4,901	4,971	5,070	5,059	5,054	5,050	5,206	5,332

(営業施設数の年度別推移)



(3) 食品・器具等の収去検査

管内で製造又は流通する食品を収去し、細菌検査、理化学検査を実施しました。

種別	区分	収去件数	不適件数		
			総数	細菌試験	理化学試験
乳肉食品	魚介類	2			
	冷凍食品	5			
	肉卵類及びその加工品	2			
	アイスクリーム類	38	2	2	
	小計	47	2	2	
一般食品	穀類及びその加工品	5			
	野菜類・果実及びその加工品	5			
	菓子類	14			
	清涼飲料水	2			
	その他の食品	87			
	小計	113			
合計		160	2	2	

(4) 違反食品等の発見等

食品の分類	件数	違反内容	措置	備考
アイスクリーム類	2	規格基準違反	始末書徴収	
そうざい	1	表示違反	他自治体へ通報	
その他の食品	1	表示違反	口頭説諭 適正表示後販売	他自治体からの通報

(5) 違反施設

営業の種類	件数	違反内容	措置	備考
飲食店営業	2	規格基準違反	始末書徴収	
	4	食中毒	営業禁止	
食品製造業	1	表示違反	始末書徴収	他自治体からの通報
合計	7			

(6) 食中毒予防啓発及び食中毒発生状況

食品取扱い施設における食中毒の発生防止を図るため、営業者への衛生教育及びリーフレットの配布を行いました。また、食品衛生指導員による自主管理の推進をサポートし、営業施設の衛生管理の向上を図りました。

家庭における食中毒の注意を喚起するため、広報誌やポスターの掲示による広報活動を行いました。また、食中毒予防週間に管内の各地区でリーフレットを配布して食中毒への注意を呼びかけました。

食中毒の発生にあたっては、被害の拡大を防止するための迅速な対応に努め、さらに原因究明による再発の防止を図りました。

平成24年度の食中毒発生状況（厚木保健福祉事務所管内）

発生日	原因施設	喫食者数	患者数	病因物質	原因食品
4月1日	飲食店	219	83	ノロウイルスG	当該施設で提供された食事
11月23日	飲食店	19	13	ノロウイルスG	当該施設で提供された弁当
2月15日	飲食店	89	54	サポウイルス	当該施設で提供された食事
3月19日	飲食店	41	15	ノロウイルスG	当該施設で提供された食事

(7) 食品衛生講習会

営業施設の食品衛生責任者に対し、食中毒の発生防止を図るため、食品の取扱い・施設の管理・従業員教育等について講習を行いました。また、消費者に対しても家庭における食中毒予防を目的とした講習会を実施しました。

対象者	回数	受講人数	内容
営業者	37	2,366	食品衛生責任者講習会 食中毒予防講習会 給食施設従事者講習会
消費者	3	136	食中毒予防について
合計	40	2,502	

(8) 苦情処理

食品に対する苦情は消費者からの貴重な情報として受けとめ、事実確認のほか、製造・流通・販売の各ルートについて苦情原因の解明と再発防止に努めました。

分類	内容	総数	異物混入	かび	腐敗	異味異臭	不衛生	容器包装の不良	有症情	その他
	乳・乳製品・乳類加工品									
	魚介類及びその加工品	18	5			3			8	2
	肉卵類及びその加工品	13	4	1			1		4	3
	穀類及びその加工品	3	2	1						
	野菜類・果実及びその加工品	13	2	1	4	2	1		2	1
	菓子類	14	4	1		1	3		1	4
	その他	123	25	1	2	8	7	1	72	7
	不明	4							1	3
	施設に関するもの	22					18			4
合	計	210	42	5	6	14	30	1	88	24

食品の分類は衛生行政報告例に準ずる

(9) 免許取扱い数

項目	免許申請	書換	再交付	合計
調理師	125	17	23	165
製菓衛生師	27	1	1	29
ふぐ包丁師	3	3		6
合計	155	21	24	200

2 環境保健対策の充実

(1) 生活衛生指導事業

ア 生活環境指導事業

理容所、美容所、クリーニング所、旅館、興行場、公衆浴場の許認可及び衛生措置の遵守等を図るため、監視指導を行いました。

また、「墓地、埋葬等に関する法律」(昭和23年法律第48号)第10条の規定に基づく許可等を行いました。

(ア) 環境衛生関係営業施設数及び監視指導状況

業種	施設数	市 町 村 別 施 設 数 内 訳					許 可 (確認) 件 数	廃 止 件 数	監 視 件 数
		厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村			
理 容 所	331	152	72	77	29	1	4	9	107
美 容 所	595	253	154	141	44	3	27	20	218
ク リ ー ニ ン グ 所	324	147	71	78	27	1	11	19	104
旅 館	86	54	6	2	8	16		4	42
興 行 場	6	1	3	1	1				3
公 衆 浴 場	51	27	11	7	2	4	2		20
合 計	1,393	634	317	306	111	25	44	52	494

(イ) 免許事務処理

免 許 の 種 類	免 許 申 請	書 換 ・ 訂 正	再 交 付	返 納
ク リ ー ニ ン グ 師		1		

(ウ) 講習会開催状況

対 象 者	開 催 回 数	受 講 者 数
美 容 所 従 事 者 等	1	292

(エ) 生活環境衛生関係施設

区 分	施 設 数	監 視 指 導 件 数
化 製 場	1	1
火 葬 場	2	2
産 あ い 物 処 理 業	1	1

(オ) 墓地等相談件数及び許可件数

項 目	相 談 数	許 可 数
新 設	2	1
変 更		
廃 止	1	
合 計	3	1

イ 建築物衛生対策強化事業

法に基づく届出の受理、建築物登録業の登録事務を行うとともに、特定建築物への立入検査及び指導を行い、衛生的環境の確保に努めました。

(ア) 特定建築物設置施設数及び監視指導状況

用 途	施設数	市 町 村 別 施 設 数					内 訳	監視件数
		厚 木 市	海老名市	座間市	愛川町	清川村		
総 数	154	97	30	19	7	1	51	
興 行 場	3	1	1		1			
百 貨 店	1	1						
店 舗	48	21	15	7	4	1	22	
事 務 所	64	46	9	8	1		21	
学 校	17	11	2	3	1		3	
旅 館	9	8	1				2	
集 会 場	5	4	1				1	
図 書 館	2		1	1				
遊 技 場	2	2					1	
その他学校	3	3					1	

(イ) 建築物衛生管理業登録営業所数及び監視指導状況

登 録 区 分	登 録 営 業 所 数	監 視 指 導 件 数
建 築 物 清 掃 業	26	3
空 気 環 境 測 定 業	5	
空 気 調 和 用 ダ ク ト 清 掃 業		
飲 料 水 水 質 検 査 業	5	3
飲 料 水 貯 水 槽 清 掃 業	33	7
建 築 物 排 水 管 清 掃 業	7	1
ね ず み 昆 虫 等 防 除 業	11	3
環 境 衛 生 総 合 管 理 業	3	1
合 計	90	18

(ウ) 講習会開催状況

対 象 者	開 催 回 数	受 講 者 数
特 定 建 築 物 管 理 者 等	1	50

ウ 浄化槽維持管理推進事業

浄化槽の維持管理について、設置届の受理及び大規模施設への立入調査等を実施するとともに、保守点検業の登録事務及び指導を行い、生活環境の改善に努めました。

(ア) 浄化槽設置基数及び監視指導状況

項目 規模別等	設置基数	市 町 村 別 施 設 数 内 訳					監視 件数
		厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村	
501人槽以上	11	5	2	1	3		11
500人槽以下	14,994	4,226	4,318	3,332	2,934	184	27
合 計	15,005	4,231	4,320	3,333	2,937	184	38

(イ) 浄化槽保守点検業登録営業所数及び監視指導状況

登 録 事 業 者 数	管内登録営業所数	監 視 指 導 件 数
53	16	12

エ 住まいと環境衛生推進事業

ダニアレルギーをはじめとする住まいに起因する健康被害の予防及びねずみ・衛生害虫等の駆除に係る相談窓口を開設し、必要な情報提供や改善方法等の助言指導を行いました。

主 な 相 談 内 容	件 数
衛生害虫等の対策	38 (うち同定8)再掲
室内空気環境	1
浄化槽等	
飲料水	

(2) 水浴場等対策事業

プールについて、設置の許可及び監視指導を行うとともに、講習会を開催し、公衆衛生の確保と事故防止に努めました。

ア 水浴場等施設数及び監視指導状況

項目 区分	施設数	市 町 村 別 施 設 数 内 訳					許 可 件 数	廃 止 件 数	監 視 件 数
		厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村			
プール	39	12	6	14	5	2	1		39

イ 講習会開催状況

対 象 者	開 催 回 数	受 講 者 数
プ ー ル 管 理 者	1	19

(3) 温泉指導監督事業

源泉、温泉利用施設の許可及び監視指導を行い、温泉の適正利用及び保護に努めました。

源泉、温泉利用施設

区 分	源 泉 数	利用施設数	源 泉 地 名
厚 木 市	10	10	七沢・飯山
海老名市	2	2	
座 間 市	1	1	
清 川 村	4	1	別所
合 計	17	14	

(4) 動物保護等対策事業

犬、猫の飼育指導を行うとともに、犬による事故の状況について調査・指導を行い再発防止に努めました。

ア 飼えなくなった犬、猫の引取り状況

項目 区分	頭 数	市 町 村 別 頭 数				内 訳 清 川 村
		厚 木 市	海老名市	座 間 市	愛 川 町	
犬	10	7	1	2		
猫	22	19	2	1		
合 計	32	26	3	3		

イ こう傷事故の発生状況

市 町 村 別 頭 数					内 訳 清 川 村	合 計
厚 木 市	海老名市	座 間 市	愛 川 町	清 川 村		
17	2	1	1		21	

ウ 犬、猫の苦情相談等の処理状況

(ア) 動物保護センター依頼分(件数)

捕獲依頼	引取依頼	合 計
25	32	57

(イ) 保健福祉事務所処理分

内容 区分	内 容					合 計
	放し飼い	鳴き声	糞尿	野良猫に餌	その他	
犬	15	29	7		8	59
猫			8	26	8	42
合 計	15	29	15	26	16	101

エ 犬の登録及び狂犬病予防注射実施状況（参考）

区分	項目	頭数	市 町 村 別 頭 数 内 訳				
			厚 木 市	海 老 名 市	座 間 市	愛 川 町	清 川 村
登 録		31,642	13,320	7,082	7,719	3,191	330
内	新規登録	2,139	862	441	572	249	15
	狂犬病予防注射	25,270	10,898	5,991	5,764	2,345	272

(5) 水道指導事業

水道事業の許認可、専用水道の確認及び簡易専用水道の指導を行うとともに、水道水源の水質検査や水道施設の維持管理の指導を行い、安全な飲料水の確保に努めました。

ア 水道施設数及び監視指導状況

区分	項目	施設数	市 町 村 別 施 設 数 内 訳					監視 件数
			厚 木 市	海 老 名 市	座 間 市	愛 川 町	清 川 村	
上 水 道		2			1	1		1
簡 易 水 道		1					1	1
専 用 水 道		54	29	14	9	1	1	46
簡 易 専 用 水 道		914	459	192	195	61	7	11
	合 計	971	488	206	205	63	9	59

イ 小規模水道等施設数及び監視指導状況

区分	項目	施設数	市 町 村 別 施 設 数 内 訳					監視 件数
			厚 木 市	海 老 名 市	座 間 市	愛 川 町	清 川 村	
小 規 模 水 道		23	18	1	2	2		23
小規模受水槽水道		914	432	132	262	71	17	
	合 計	937	450	133	264	73	17	23

ウ 水道普及状況

(平成 24 年 3 月末現在)

区分	項目	総数	市 町 村 別 給 水 人 口 内 訳				
			厚 木 市	海 老 名 市	座 間 市	愛 川 町	清 川 村
	上水道(県営)	359,644	222,387	128,099		9,158	
	上水道(市町営)	158,256			129,209	29,047	
	簡易水道	3,263					3,263
	専用水道(自己水源)	1,320	720	600			
	合 計	522,483	223,107	128,699	129,209	38,205	3,263
	行政区域内総人口	526,368	224,038	128,157	129,370	41,460	3,343
	普及率(%)	99.3	99.6	100.4	99.9	92.1	97.6

3 医薬品等安全対策の充実

医薬品等の安全性・有効性、品質の確保、適正使用の推進及び安全対策の充実並びに麻薬・覚せい剤等の薬物乱用防止対策の強化などを通して県民の健康づくりと地域における保健医療サービスの向上に努めました。

(1) 薬事指導監督事業

ア 薬局・医薬品販売業等施設数

業種 市町村	総数	薬局	医薬品販売業			薬局医薬品製造販売業	薬局医薬品製造業	医薬品等製造業・製造販売業等	医療機器販売・賃貸業
			店舗	卸売	小計				
厚木市	999	79	38	72	110	7	7	70	726
海老名市	381	37	19	9	28	3	3	13	297
座間市	339	35	23	5	28	4	4	13	255
愛川町	125	10	6	3	9			19	87
清川村	2								2
合計	1,846	161	86	89	175	14	14	115	1,367

イ 薬局・医薬品販売業等取扱い件数

区分 業種	総数	薬局	医薬品販売業						薬局医薬品製造販売業	薬局医薬品製造業	高度管理医療機器等販売・賃貸業	管理医療機器販売・賃貸業
			一般	店舗	卸売	薬種商	特例	小計				
新規許可申請	163	17		12	6			18	1	1	17	109
許可更新申請	47	23			13			13	2	2	7	
製造販売承認申請	1								1			
製造販売届												
許可証等書換・再交付申請	9	2		1	2			3			4	
管理者兼務許可申請	7	1			6			6				
変更 構造設備	56	12		16	18			34			8	2
変更 管理者	313	123		29	2			31			54	105
届 その他	684	381		173	52		1	226			62	15
休止・再開届												
廃止届	84	12		8	2	2	4	16			15	41

ウ 薬事監視実施状況

項目 業種	総数	薬局	医薬品販売業			薬局医薬品製造販売業	薬局医薬品製造業	製造販売業等 製造業・製造業等	医療機器 販売・賃貸業
			店舗	卸売	小計				
対象数	1,846	161	86	89	175	14	14	115	1,367
立入検査	409	65	46	33	79	4	4	41	216
違反件数	1			1	1				

(2) 毒物・劇物指導監督事業

ア 毒物・劇物販売業等施設数

業種 市町村	総数	毒物・劇物販売業					製造業	輸入業	業務上 取扱者	その他
		一般		農業用 品目	特定 品目	小計				
		専業	兼業							
厚木市	130	72	27	16	4	119	5	1	2	3
海老名市	39	15	15	4		34	1	1	1	2
座間市	37	15	14	1		30	2	1	1	3
愛川町	16	7	2	3		12	3	1		
清川村	1			1		1				
合計	223	109	58	25	4	196	11	4	4	8

毒物及び劇物取締法第22条第1項に規定のあるもの(以下同じ)

イ 毒物・劇物販売業等取扱い件数

業種 区分	総数	毒物・劇物販売業					業務上 取扱者
		一般		農業用 品目	特定 品目	小計	
		専業	兼業				
新規登録申請・届出	10	6	3			9	1
登録更新申請	42	23	9	10		42	
登録票書換え等交付申請	5	3	2			5	
毒物・劇物 取扱責任者	設置届	7	3	3		6	1
	変更届	36	10	18	8	36	
変更届	構造設備	7	4	2	1	7	
	その他	7	5	1	1	7	
廃止届	15	9	5			14	1

ウ 毒物・劇物監視実施状況

業種 項目	総数	毒物・劇物販売業					製造業	輸入業	業務上 取扱者	その他
		一般		農業用 品目	特定 品目	小計				
		専業	兼業							
対象数	223	109	58	25	4	196	11	4	4	8
立入検査	110	31	33	12		76	4	1	1	28
違反件数	1	1				1				

(3) 麻薬指導監督事業

ア 麻薬免許等取扱い件数

業種 区分	総数	施用者	管理者	小売業者	卸売業者	研究者
新規申請	102	80	9	10		3
継続申請	299	237	22	36	3	1
変更	87	66	2	18	1	
廃止及び返納	356	274	28	48	3	3
廃棄届	63	3	29	26	5	
調剤済廃棄届	146	3	133	10		

イ 麻薬監視実施状況

業種 項目	総 数	麻薬卸売業者	麻薬小売業者	麻薬研究者	麻薬取扱い施設	
					病 院	診 療 所
対 象 数	244	7	82	6	21	128
立 入 検 査	64	3	33	2	23	3
違 反 件 数						

(4) 薬物乱用防止対策事業
街頭キャンペーン等

実施日	名称	場所	内容	参加者(人)
6月23日	薬物乱用防止 街頭キャンペーン	小田急線本厚 木駅前	約1,200人対象 啓発資材配布	36 (11団体)
8月5日	ふれあいフェ スティバル 2012・第29回 社協福祉まつり	座間市立市民 文化会館 (ハーモニー ホール座間)	約1,000人対象 啓発資材配布 啓発パネルの展示 薬物乱用防止指導員による 薬物相談 お薬相談コーナー 禁煙相談コーナー やにけん	37 (9団体)
10月21日	えびな安全・安心 フェスティバル	海老名市役所	約1,200人対象 啓発資材配布 着ぐるみによるアピール 乱用薬物の見本の展示 薬物乱用防止指導員による 薬物相談 ビデオの放映 啓発パネルの展示 お薬相談コーナー 禁煙相談コーナー	34 (8団体)
2月23日	薬物乱用防止 街頭キャンペーン	コピー愛川店	約700人対象 啓発資材配布	23 (9団体)

第4章

健やかで安心した生活を支える福祉の推進

- 1 福祉事業の普及・支援
- 2 福祉事業の推進

80

84

1 福祉事業の普及・支援

(1) 地域福祉の事業

ア 民生委員児童委員（昭和 23 年度～）

社会調査、要援護者の指導、福祉施設との連携、関係行政機関への協力など、地域における福祉活動の中心的役割を担っている民生委員児童委員の活動費等を負担しました。

区分 市町村名	定 数 (人)			活動件数 (件)		訪問 回数 (回)	連絡調 整回数 (回)	活動 日数 (日)
	民生委員 児童委員	主任児 童委員	合計	相談・支 援件数	その他の 活動件数			
総 数	954	94	1,048	11,728	163,266	173,640	82,798	158,692
厚 木 市	263	31	294	4,150	73,577	66,474	29,196	51,161
大 和 市	248	22	270	3,343	34,482	39,487	23,598	40,940
海老名市	131	10	141	952	16,198	28,330	8,364	19,491
座 間 市	133	12	145	1,209	13,813	15,747	9,097	18,403
綾 瀬 市	112	12	124	1,174	17,893	13,744	8,462	18,729
愛 川 町	59	5	64	892	6,767	9,134	3,810	9,114
清 川 村	8	2	10	8	536	724	271	854

イ 障害福祉相談員（昭和 42 年度～）

障害者の生活の安定と地域福祉活動の推進を図るため、市町村に設置されている障害福祉相談員に対して活動費を支給しました。

区分 市町村名	定 数 (人)	活 動 件 数 (件)		
		実践活動	相談・助言活動	合 計
総 数	37	4,229	1,428	5,657
厚 木 市	13	2,541	902	3,443
大 和 市	10	828	277	1,105
海老名市	3	410	74	484
座 間 市	7	180	113	293
綾 瀬 市	1	103	57	160
愛 川 町	2	70		70
清 川 村	1	97	5	102

ウ 地域福祉コーディネーター事業

(ア) 県央保健福祉圏域地域福祉担当者情報交換会・研修会

地域福祉担当者のスキルアップを図るとともに、相互の連携を促進するために、講演、実践報告、情報交換等を行いました。

開催日	内 容	講師等	出席者(人)
3月26日	講演 「地域生活を支える介護福祉を考える」	県立保健福祉大学 教授 臼井 正樹	市町村、 市町村社会福祉協議会、 地域包括支援センター等 22
	実践報告 『ボランティアコーディネーター養成講座等の取組みについて』	大和市社会福祉協議会地域福祉課 柴崎 崇	
	実践報告 『地域福祉コーディネーターについての神奈川県での取組みについて』	神奈川県地域保健福祉課 塚本 ひとみ	

(イ) 地域福祉コーディネーター養成研修

地域福祉コーディネーター養成研修として、県央保健福祉圏域における行政、団体の取組みについて支援することにより、地域福祉の担い手の養成、地域でのネットワークづくり、ネットワークの機能強化を図ることを目的とし、研修を実施しました。

a 大和市社会福祉協議会「ボランティアコーディネーター養成講座」

開催日	内 容	講 師	出席者(人)
10月9日	講演：ボランティア活動とそのコーディネート	K T福祉研究所 代表 松藤 和生	25
10月16日	講演：ボランティア活動におけるリスクマネジメント	日本ボランティアコーディネーター協会 事務局長 後藤 麻理子	30
10月25日	活動分野別学習会 講演：福祉施設におけるボランティア活動	N P O介護の会まつなみ 理事長 島村 俊夫	9
10月27日	活動分野別学習会 講演：災害ボランティア活動	N P O神奈川災害ボランティアネットワーク	10
10月29日	地区社協個別支援活動	グループディスカッション	23

b 大和市社会福祉協議会地域福祉活動実務担当者研修

開催日	内 容	講 師	出席者(人)
1月23日	講演： 地域福祉を推進するための 支え合い活動について	神奈川県立保健福祉大学 准教授 中村 美安子	61

エ バリアフリーの街づくり

神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例の県民への普及啓発、特に「心のバリアフリー」や「カラーバリアフリー」等についての意識の高揚を図るため、愛川町主催行事においてパンフレット等の配布を行ったほか、当所の食品衛生講習会においてカラーバリアフリーに関する普及啓発講習を実施、さらには海老名市との共催によるイベントを開催しました。

開催日	内 容	場 所	参加者 (人)
6月3日	「あいかわ健康の日2012」での普及啓発	愛川町役場	130
6月6日 6月13日 6月20日 6月27日 9月27日	講演「カラーバリアフリーについて」 講師：保健福祉課福祉職	厚木市会場 " " 愛川町会場 清川村会場	510
10月27日 11月23日 12月2日 1月26日	「第10回海老名こころのバリアフリー2012」 ・ドキュメンタリー映画「普通に生きる」の上映 ・アトラクション ・障害関係団体の展示販売 ・県発行パンフレット「街も、私たちもバリアフリーになろうよ」配布等	東粕谷小学校 中新田小学校 門沢橋小学校 海老名市文化 会館大ホール	175 171 140 285

(2) 福祉の貸付事業

母子福祉資金等の貸付（昭和 28 年度～）

母子家庭の生活の安定と児童の健全な育成を図るために必要な資金の貸付をしました。
（単位：件）

区分		事業	事業	技能	就職	住宅	転宅	医療	生活	修学	就学	修業	結婚	合計
市町村名		開始	継続	習得	支度			介護			支度			
母子福祉資金	厚木市									34	42	4		80
	海老名市									9	3			12
	座間市			1						4	6			11
	愛川町			1						1	2			4
	清川村									1				1
	合計			2						49	53	4		108
寡婦福祉資金	厚木市									1	1	1		3
	海老名市													
	座間市													
	愛川町													
	清川村													
	合計									1	1	1		3

2 福祉事業の推進

社会福祉法による福祉事務所として、愛川町と清川村を所管し生活保護法、母子及び寡婦福祉法、児童福祉法等を施行しました。

(1) 生活保護

生活保護制度は、国民の最低生活の保障という社会保障制度の根幹をなす制度です。要保護者の最低生活の保障と自立の助長を図るため、国の法定受託事務として町村の協力を得ながら実施しています。保護率は平成4年度（平均）の2.17%を最低とし、その後は経済状況の低迷等を背景に増加に転じ、特に平成20年秋以降の世界同時不況による雇用情勢の悪化によって被保護世帯数・人員とも増え続けています。平成24年度末の保護率（平均）は12.40%です。

ア 被保護世帯数・人員（平成25年3月31日現在）

区	分	総数	生活	住宅	教育	医療	介護	出産	生業	葬祭
			扶助	扶助	扶助	扶助	扶助	扶助	扶助	扶助
総数	世帯数	374	311	318	42	322	54		16	3
	人員	560	477	485	63	450	55		22	3
愛川町	世帯数	349	302	307	42	298	49		16	3
	人員	535	468	474	63	426	50		22	3
清川村	世帯数	25	9	11		24	5			
	人員	25	9	11		24	5			

イ 保護の開始・廃止

（ア）理由別開始世帯の状況（年度計）

区	分	総数	世帯主の傷病	世帯員の傷病	死亡離別不在	稼働収入の減少				年金の減少等	仕送りの減少等	預貯金の消費	要保護者の転入	その他
						定年失業	老齢	倒産等	その他					
総	数	102	40			10	3	4	4	4	1	5	1	30
愛	川	98	37			10	3	4	4	4	1	5	1	29
清	川	4	3											1

(イ) 理由別廃止世帯の状況(年度計)

区 分	総 数	世帯主 傷病の 治癒	世帯員 傷病の 治癒	死 亡	失 踪	稼働 収入の 増加	働 き手 の 転 入	年 金 等 の 増 加	引 取 り	施 設 入 所	医 療 他 法	要 保 護 者 の 転 出	そ の 他
総 数	98	1		12	23	29	3	7	6	1		6	10
愛 川 町	92	1		10	23	28	3	6	6	1		6	8
清 川 村	6			2		1		1					2

ウ 世帯類型別被保護世帯の状況(平成25年3月31日現在)

区 分	総 数	高齢者世帯	母子世帯	障害者世帯	傷病者世帯	その他世帯
総 数	374	137	46	43	64	84
愛 川 町	349	122	46	36	62	83
清 川 村	25	15		7	2	1

エ 労働力類型別被保護世帯の状況(平成25年3月31日現在)

区 分	総 数	稼 働 世 帯					非稼働 世 帯
		世帯主が働いている世帯				世帯員 稼働	
		常 用	日 雇	内 職	そ の 他		
総 数	374	56	1	5		12	300
愛 川 町	349	55	1	5		12	276
清 川 村	25	1					24

オ 医療扶助(平成25年3月31日現在)

区 分	入 院		入 院 外	
	精 神	そ の 他	精 神	そ の 他
総 数	15	14	2	421
愛 川 町	3	13	2	410
清 川 村	12	1		11

カ 生活保護施設措置状況(平成25年3月31日現在)

区 分	救護施設	更生施設
総 数	4	
愛 川 町	4	
清 川 村		

キ 保護の開始廃止件数の推移

区 分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
開 始	141	117	105	91	102
廃 止	111	92	81	72	98

ク 保護世帯等の推移（年度平均）

区 分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
世 帯 数	266	313	341	362	375
人 員	400	475	513	539	563
保 護 率 %	8.87	10.56	11.40	11.80	12.40

ケ 生活保護費の状況（24年度計）

（単位：円）

区 分	総 額	内 訳			
		生 活 扶 助	住 宅 扶 助	教 育 扶 助	医 療 扶 助
総 額	458,327,716	271,126,711	158,177,773	7,141,295	7,920,799
愛 川 町	440,300,367	258,720,452	152,848,688	7,141,295	7,633,194
清 川 村	18,027,349	12,406,259	5,329,085	0	287,605

区 分	内 訳				
	介 護 扶 助	出 産 扶 助	生 業 扶 助	葬 祭 扶 助	施 設 事 務 費
総 額	60,990	158,500	4,609,698	1,515,790	7,616,160
愛 川 町	56,590	158,500	4,609,698	1,515,790	7,616,160
清 川 村	4,400	0	0	0	0

(2) 障害児者福祉

郡部を所管する福祉事務所においては、特別障害者手当・障害児福祉手当・福祉手当（経過措置分）の支給事務を行っています。

特別障害者手当等の支給状況（平成25年3月31日現在）

（単位：人）

区 分	特別障害者手当	障害児福祉手当	福祉手当(経過措置分)
総 数	23	13	1
愛 川 町	21	11	1
清 川 村	2	2	

(3) 児童福祉

郡部を所管する福祉事務所における児童福祉法の業務として、母子生活支援施設並びに助産施設に関する相談・入所措置事務を行っています。

ア 母子生活支援施設利用状況（平成 25 年 3 月 31 日現在）

利用者居住地	愛川町	清川村
利用件数	1	

イ 助産施設利用状況（年度計）

利用者居住地	愛川町	清川村
利用件数	4	

(4) 女性保護

売春防止法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律に基づき、要保護女子の相談指導並びに女性相談所等への一時保護を行っています。

女性相談員相談状況（主訴別取扱状況）

（平成 24 年度）

区分	総計	人間関係																	
		夫等				子ども			親族			交際相手			その他の者の暴力	男女問題	家庭不和	その他	
		夫等の暴力	酒乱・薬物中毒	離婚問題	その他	子どもの暴力	養育不能	その他	親の暴力	暴力的	その他の親族の	その他	交際相手の暴力	暴力					同性間の交際相手の
総数	35	18				1	3		2							1			
愛川町	30	15				1	3									1			
清川村	4	2							2										
その他	1	1																	

区分	経済関係				医療関係				住居問題	帰宅先なし	不純異性交遊	売春強要	ヒモ・暴力団関係	5条違反	人身取引
	生活困窮	サラ金・借金	求職	その他	病気	精神的問題	妊娠・出産	その他							
総数	3							6	1						
愛川町	3							6	1						
清川村															
その他															

その他は、愛川町・清川村以外の都道府県市町村からの相談

(5) 母子寡婦福祉

母子自立支援員を配置し、母子寡婦福祉資金の貸付など母子寡婦の生活全般にわたる相談を行っています。

母子自立支援員相談状況

(平成24年度)

区	分	総数	愛川町	清川村	その他	小計
総	数	890	878	11	1	890
生活一般	住	宅	80			80
	医 療	病 気	62			62
		障 害	2			2
		そ の 他	87			87
	家 庭 紛 争	夫等の暴力	74	5	1	80
		そ の 他	32	3		35
	就 労	求職・転職	27			27
		資格取得 職業訓練	7			7
		職場の悩み	6			6
		そ の 他	4			4
	結 婚					
	養 育 費		6			6
	借 金		1			1
そ の 他		30			30	
児 童	養 育	保育所入所	4			4
		虐 待	30			30
		そ の 他	105			105
	教 育	15			15	
	非 行					
	就 職					
そ の 他		36			36	
生活 援 護	母子福祉 資 金	貸 付	29	3		32
		償 還	81			81
	寡婦福祉 資 金	貸 付				
		償 還				
	公 的 年 金					
	児 童 扶 養 手 当		18			18
	生 活 保 護		48			48
税						
そ の 他		9			9	
そ の 他	売 店					
	た ば こ 販 売					
	公 営 住 宅	85	5		5	
	母子福祉施設利用		70		70	
母子生活支援施設		10			10	

第5章

保健・医療・福祉基盤づくりと連携

1 保健医療福祉計画の推進	89
2 保健医療福祉の基盤づくり	92
3 適正な保健・医療・福祉等の確保	95
4 健康危機管理対策	103

1 保健医療福祉計画の推進

(1) 県央地区保健医療福祉推進会議（平成 9 年度～）

医療法に基づく、二次保健医療圏である県央地区（厚木・大和保健福祉事務所管内）の保健・医療・福祉に係る重要事項を協議するため県央地区保健医療福祉推進会議を設置しています。

県央地区保健医療福祉推進会議の開催

開催日	内 容	出席委員（人）
10月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「県央地域保健医療推進指針」の作成方針について ・ 「県央地域保健医療推進指針」の作成について 	28
3月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県央地区地域保健医療計画の進行管理について ・ 神奈川県保健医療計画の改定および県央地域保健医療推進指針について ・ 病床整備に関する事前協議について ・ 神奈川県医療救護計画の改定および地域災害医療対策会議について ・ 県央地区における救急医療体制及び医療連携について ・ 「地域包括ケア会議」県央地区の取り組み状況について ・ その他 	26

(2) 地域医療対策

県央二次保健医療圏における地域医療の確保、整備・充実に必要な事項を協議するため県央地区地域医療専門部会等を設置しています。

ア 県央地区地域医療専門部会の開催（平成 20 年度～）

平成 24 年度開催なし

イ 県央地区二次救急医療広域協力円滑化ワーキンググループの開催（平成 21 年度～）

開催日	内 容	出席委員（人）
6月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本ルール変更案について ・ 平成 24 年度下半期輪番調整原案について 	21
1月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本ルール変更案について ・ 平成 25 年度上半期輪番調整原案について 	20

ウ 厚木地区糖尿病クリティカルパス研究会の開催（平成 20 年度～）

開催日	内 容	出席者（人）
2月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 24 年度厚木地区糖尿病クリティカルパス運用実態に関する調査結果報告 ・ 糖尿病連携手帳の利用促進について ・ 利用促進に関する媒体等の作成について 	18

エ 脳卒中・心筋梗塞医療連携調整会議の開催（平成 22 年度～）

開催日	内 容	出席委員（人）
8 月 22 日 (心筋梗塞)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 24 年度下半期にかかる輪番体制のあり方について ・ 平成 24 年度下半期にかかる県央地区心筋梗塞輪番表案について 	24
8 月 30 日 (脳卒中)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 24 年度下半期にかかる輪番体制のあり方について ・ 平成 24 年度下半期にかかる県央地区脳卒中輪番表案について 	33
2 月 13 日 (心筋梗塞)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 24 年度における心筋梗塞輪番体制の結果について ・ 平成 25 年度にかかる心筋梗塞輪番体制の継続について ・ 平成 25 年度上半期にかかる県央地区心筋梗塞輪番表案について ・ 平成 26 年度以降のあり方について 	34
2 月 13 日 (脳卒中)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 24 年度における脳卒中輪番体制の結果について ・ 平成 25 年度にかかる脳卒中輪番体制の継続について ・ 平成 25 年度上半期にかかる県央地区脳卒中輪番表案について ・ 平成 26 年度以降のあり方について 	30

(3) 地域・職域連携

県央二次保健医療圏における地域・職域連携体制を構築するため県央地区地域保健総合部会を設置しています。

ア 県央地区地域保健総合部会の開催（平成 20 年度～）

開催日	内 容	出席委員（人）
3 月 7 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域職域連携推進事業 生活習慣病対策事業について ・ 「かながわ健康プラン 21」（第 2 次）の改定について ・ 「神奈川県がん対策推進計画」の改定について ・ 「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画（仮称）」の策定について ・ 「職場のパワーハラスメントの防止」について 	29

(4) 医療と介護の連携

2025年には、医療介護が必要な高齢者が急増し、ピークを迎えることが見込まれています。このような状況の中、高齢者が尊厳を保ちながら、住みなれた地域で自立した生活を送ることができるように、「地域包括ケアシステム」（医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが、日常生活の場で切れ目なく提供できる仕組み）の構築を国、県、市町村がそれぞれの役割の中で取り組んでいます。

厚木保健福祉事務所では、地域包括ケアシステムの構築に向け、医療と介護の連携の推進を図ることを目的に、地域包括ケア会議を設置しました。

厚木保健福祉事務所地域包括ケア会議の開催（平成 24 年度～）

開催日	内 容		出席委員等 (人)
11月30日	公開講座	「医療と介護の連携による近未来の地域づくり」 目白大学大学院客員教授 宮武 剛	60
	第1回	管内における医療と介護連携に関する現状と課題 について	20
2月15日	第2回	・管内の「医療と介護の連携」について ・訪問診療、訪問看護ステーションからの現場報告 ・管外の「医療と介護の連携」の取組みについて ・平成24年度地域包括ケア会議の課題のまとめ ・地域包括ケア会議の目指すべき方向性（案）について	20

2 保健医療福祉の基盤づくり

(1) 保健衛生研修

地域保健活動を展開する上での新たな専門的知識・技術の習得を図るため、県央地区の保健医療福祉関係職員等の研修を実施しました。

項目	実施日	内 容	講 師	受講者数 (人)
保健衛生 研修	11月29日	摂食嚥下機能に問題のあるお子さんに携わる専門職のための摂食嚥下機能と支援方法(実践編)	神奈川歯科大学学生体管理医学講座 障害者歯科学分野 非常勤講師 松澤 直子	41
保健福祉 実務研修	9月24日	災害時における在宅療養者及び家族への支援	日本ALS協会宮城県支部 秋山 厚 元北里大学看護学部准教授 藤田 美江	48

(2) 保健福祉事務所実習指導

ア 看護学生等合同オリエンテーション

前期 平成24年4月13日(金) 58名

後期 平成24年9月 7日(金) 29名

イ 実習指導

保健福祉事務所実習指導数

学生種別	学校施設数	実習生数(人)	備 考(学校名等)
総 数	14	88	
保 健 師	3	18	北里大学、国際医療福祉大学、県立保健福祉大学
看 護 師	5	52	厚木看護専門学校、藤沢市立看護専門学校、保土ヶ谷看護専門学校、湘南平塚看護専門学校、小澤高等看護学院
栄 養 士	4	13	県立保健福祉大学、鎌倉女子大学、関東学院大学、相模女子大学
歯 科 衛 生 士	1	3	新横浜歯科衛生士専門学校
そ の 他	1	2	信州大学

(3) 衛生、福祉統計・報告

衛生及び福祉行政施策立案の基礎資料となる各種統計調査を実施しました。

- ア 国民生活基礎調査 調査日 6月7日 対象数 5地区 314世帯〔世帯票〕
調査日 7月12日 対象数 1地区 14世帯
〔所得票及び所得再配分調査〕
- イ 人口動態調査（月報）
- ウ 医療施設動態調査（月報）
- エ 地域保健・健康増進事業報告（年度報）
- オ 社会福祉統計報告（月報、四半期報、年度報）
- カ 衛生行政報告例（年度報）
- キ 病院報告（患者票：月報、従事者票：年度報）

(4) 広報活動

地域住民の健康教育、健康づくりの推進のために、市町村広報紙、有線放送等の媒体を活用し、普及活動を実施しました。

ア 市町村広報紙の活用

毎月全世帯配布で発行される管内各市町村広報紙に、健康診査・相談等の主要事業の日程及び健康づくり関係記事を掲載し、地域住民の積極的な参加を図りました。

イ 県央愛川農業協同組合有線放送の活用

毎月1回、加入世帯に対して健康・食品・環境衛生等についての講話を放送しました。

4月	麻しんについて	10月	「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例」について
5月	「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例」について	11月	インフルエンザについて
6月	薬物乱用の防止について	12月	食中毒予防（ノロウイルス）について
7月	食中毒予防について	1月	歯の健康について
8月	生活習慣病予防について	2月	たばこの話
9月	動物の飼育と愛護について	3月	心の健康について

ウ 厚木保健福祉事務所のホームページの活用

必要に応じて随時更新している当所のホームページに、各種の健診や相談の日程をはじめ、健康・食品・環境衛生・受動喫煙防止等に関する講演会やセミナー、キャンペーン等のお知らせを掲載し、広く県民への周知を図りました。

エ ツイッターによる情報発信

幅広い年齢層に対し、より効果的に事業内容等の情報を伝えるため、平成24年7月よりツイッターによる情報発信を開始しました。

(5) 市町村への支援状況

市町村各種事業に対して各課職員による支援を行いました。

(活動した時間4時間を1人として換算)

区分	市町村事業	総数 (人)	厚木市 (人)	海老名市 (人)	座間市 (人)	愛川町 (人)	清川村 (人)
保健師	母子保健	69	26	12	13	12	6
	老人保健						
	健康増進	8		6			2
	精神保健福祉	36	9	27			
	その他						
	小計	113	35	45	13	12	8
栄養士	母子保健						
	老人保健						
	健康増進	5	1	1	1	1	1
	精神保健福祉						
	その他						
	小計	5	1	1	1	1	1
歯科医師	母子保健	8	2			1	5
	老人保健						
	健康増進						
	精神保健福祉						
	その他						
	小計	8	2			1	5
歯科衛生士	母子保健	8	2			1	5
	老人保健						
	健康増進						
	精神保健福祉						
	その他						
	小計	8	2			1	5
精神保健福祉士	母子保健						
	老人保健						
	健康増進						
	精神保健福祉	26			6	16	4
	その他						
	小計	26			6	16	4
合	計	160	40	46	20	31	23

3 適正な保健・医療・福祉等の確保

(1) 医務

医務関係許可等取扱い件数（管内）

項 目	病 院 診 療 所					助 産 所	あんま・ はり・ きゅう	柔道整復	歯 科 技 工 所	
	病 院	X線装置	一 般	歯 科	X線装置					
総 数	83	69	176	40	107	3	87	40	5	
許 可 申 請	開 設	1		17	2					
	使 用	21		3						
	変 更 等	38		15	8					
届 出	開設・ 設置		18	35	10	57	2	31	12	4
	変 更 等	9	37	67	15	12	1	35	24	
	休 廃 止	14	14	39	5	38		21	4	1

(2) 病院・診療所定期立入検査

医療施設の適切な運営を確保するため、医療法第25条の規定に基づく定期立入検査を次のとおり実施しました。

（参考）神奈川県立入検査要綱に基づく対象施設の分類と検査実施サイクル

病院	病床を20床以上有する医療施設	毎年1回
有床診療所	19床以下の病床を有する医療施設	3年に1回以上
人工透析診療所	人工透析設備を有する医療施設	3年に1回以上
特定眼科診療所	要綱に定める要件を充たす医療施設	5年に1回以上

医療施設定期立入検査対象機関数

（平成24年4月1日現在）

	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村	合計
病 院	12	5	3	1	1	22
有 床 診 療 所	6	6	4			16
人工透析診療所	2	2	1			5
特定眼科診療所	1	1	1			3
合 計	21	14	9	1	1	46

・平成24年度定期立入検査施設

病院 22施設（厚木市内12、海老名市内5、座間市内3、愛川町内1、清川村内1）
 診療所 8施設（厚木市内4、海老名市内3、座間市内1）

ア 病院立入検査

名 称	実施日	名 称	実施日
座間厚生病院	9月 3日	神奈川リハビリテーション病院	11月12日
森の里病院	9月 6日	七沢リハビリテーション病院 脳血管センター	11月12日
さがみ野中央病院	9月10日	相模台病院	11月19日
県央胃腸病院	9月14日	東名厚木病院	11月29日
湘陽かしわ台病院	9月24日	相武台病院	11月30日
湘南厚木病院	9月27日	仁厚会病院	12月6日
オアシス湘南病院	10月1日	海老名総合病院	12月 7日
厚木佐藤病院	10月 4日	海老名メディカルサポート センター	12月 7日
愛川北部病院	10月12日	愛光病院	12月10日
厚木市立病院	10月15日	近藤病院	12月14日
相州病院	11月 2日	清川遠寿病院	12月17日

イ 診療所立入検査

有床診療所（7施設）

名 称	実施日	名 称	実施日
葉梨整形外科	12月21日	塩塚産婦人科	1月30日
小児科内科落合医院	1月16日	笹生循環器クリニック	2月1日
代田産婦人科	1月21日	並木産婦人科クリニック	2月22日
ますだ産婦人科	1月25日		

人工透析診療所（1施設）

名 称	実施日
腎健クリニック	2月7日

特定眼科（0施設）

ウ 調査内容

病 院	診 療 所
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療従事者の配置状況、健康診断 ・ 構造設備 ・ 医療安全に関する総合的対策 (院内感染対策、医療機器・医薬品の安全管理等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療従事者の配置状況、健康診断 ・ 構造設備 ・ 医療安全に関する総合的対策 (院内感染対策、医療機器・医薬品の安全管理等)

エ 調査結果

		病院(件)	診療所(件)
指摘事項	医療法及び関連法令の違反であって、患者への医療提供及び安全確保に重大な影響を及ぼすおそれがあり、早急な改善が必要な事項	4	
指導事項	医療法及び関連法令の違反であって、患者への医療提供及び安全確保に影響を及ぼすおそれがあり、改善が必要な事項	4	3
口頭指導	医療法及び関連法令の違反であって、当該違反事実等の改善が比較的容易であると認められる場合及びその他、所長が特に必要があると認めた事項	43	45

(3) 医療関係相談

ア 相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	2	9	6	3	7	4	1	4	5	5	4	4	54

イ 相談方法

電話	来庁	メール	合計
51		3	54

ウ 対象施設

病 院	一般診療所	歯科診療所	助産所・施術所	その他(エステ等)	合計
24	13	2	4	2	45

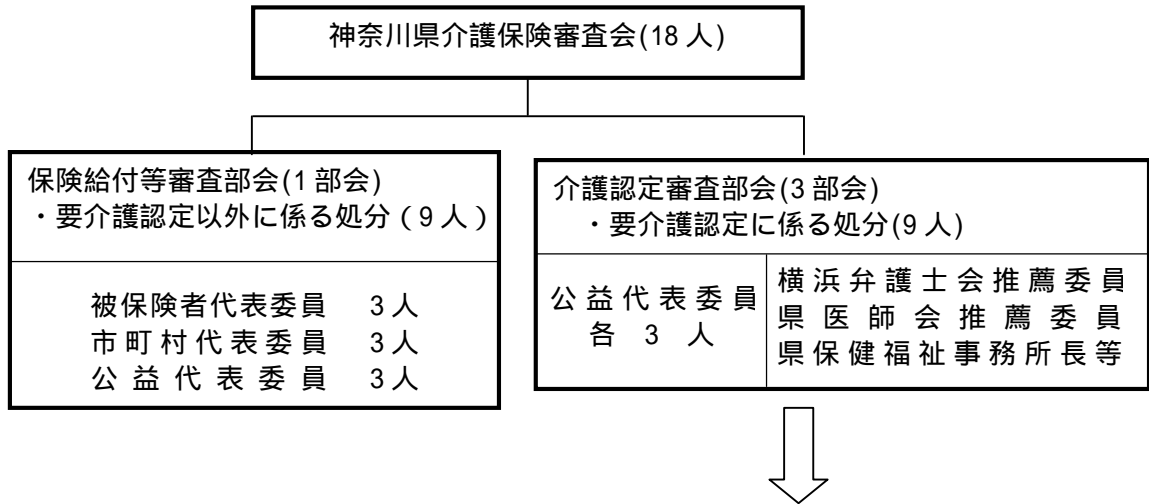
エ 相談内容(重複あり)

医療機関の対応・サービスに関する不満、苦情	27
医療行為についての疑義、苦情	2
医療関係法令に関する照会	2
医療機関についての問い合わせ	3
その他	21

(4) 介護保険

ア 介護保険審査会運営事業 (平成 11 年度～)

介護保険法に基づく市町村の要介護認定結果に対する不服審査請求手続きに係る審査を行う介護保険審査会介護認定審査部会の円滑な運営を図りました。



第3部会：対象圏域湘南西部圏域・県央圏域・県西圏域
(委員3人：県小田原保健福祉事務所長、医師、弁護士)

審査請求 件数	審査件数			部会開催 回数
	認 容	棄 却	却 下	
1		1		1

イ 事業者指導 (平成 13 年度～)

介護保険指定事業者等を対象に、適正な介護保険給付の確保、介護サービスの質の確保等を目的として、指導しました。

(ア) 集団指導

介護保険指定事業者等を対象に、介護給付サービスの取扱い、介護報酬の請求内容、事業運営上の注意点等について、介護保険課、高齢施設課、各保健福祉事務所が共同で、講習会を開催しました。

開催日	会場
6月12、13、20日	総合医療会館
6月21、22日	鎌倉芸術館
6月26、27日	青少年センター
6月28、29日	海老名市文化会館

(イ) 実地指導

実地指導は、介護保険指定事業者等の事業所に出向き、帳票類等関係書類の閲覧や関係者の面談により、人員、運営基準等の遵守状況を確認し、改善に向けて指導を行いました。

実地指導実施状況

区 分	厚木市		海老名市		座間市		合 計		
	介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	予防	
居宅介護支援事業者	4		2		7		13		
居宅サービス	訪問介護	1	1	3	3	5	5	9	9
	訪問入浴介護	1	1			1	1	2	2
	訪問看護	1	1			1	1	2	2
	訪問リハビリテーション								
	通所介護	3	2			5	4	8	6
	通所リハビリテーション	2	2			1	1	3	3
	短期入所生活介護	2	2	1	1	1	1	4	4
	短期入所療養介護	2	2					2	2
	特定施設入所者生活介護	1	1	1	1			2	2
	福祉用具貸与								
	特定福祉用具販売								
計	13	12	5	5	14	13	32	30	
介護保険施設	介護老人福祉施設	2		1		1		4	
	介護老人保健施設	2						2	
	介護療養型医療施設					1		1	
	計	4		1		2		7	
合 計	33		13		36		82		

(ウ) 課題研修

インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症のまん延が懸念される通所系、施設系サービス事業者を対象に、感染症の正しい理解を促し、感染症予防に役立てるため、研修会を開催しました。

感染症予防研修会の開催（平成24年度～）

開催日	内 容	講師	出席者 (人)
11月1日	高齢者の感染症予防について ～重症化やまん延を防ぐために～	保健予防課 医師	56
11月9日	同上	同上	47

(5) 免許取扱い数

医師・看護師その他医療関係従事者等の免許関係事務を行いました。

項 目	総 数	医 師	歯 科 医 師	薬 劑 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	准 看 護 師	管 理 栄 養 士	栄 養 士	診 療 放 射 線 技 師	臨 床 検 査 技 師	衛 生 検 査 技 師	理 学 療 法 士	作 業 療 法 士	視 能 訓 練 士	歯 科 技 工 士	受 胎 調 節 実 地 指 導 員
登録申請	433	21	4	39	17	6	162	12	36	73	5	13		32	7	1	3	2
籍訂正	290	10	1	24	33	5	138	17	13	24	3	10		7	3	1	1	
再交付	34			3	1		14	5	1	4	2	1		1	1		1	
登録抹消	6	1	1					4										
返 納																		

(6) 献血

平成 24 年度、神奈川県献血目標の 308,121 人のうち厚木保健福祉事務所の目標は 9,009 人(3,549 リットル)と定められ、管内市町村をはじめ関係者の理解と協力を得て、9,470 人に献血をしていただきました。

ア 献血数・目標数(市町村別)

項目	総 数		200ml		400ml		成 分	
	目標数 (人)	献血数 (人)	目標数 (人)	献血数 (人)	目標数 (人)	献血数 (人)	目標数 (人)	献血数 (人)
総 数	9,009	9,470	271	196	8,738	9,274		
厚 木 市	4,197	4,589	126	53	4,070	4,536		
海 老 名 市	2,708	2,674	82	85	2,626	2,589		
座 間 市	1,479	1,579	44	44	1,435	1,535		
愛 川 町	585	602	18	14	568	588		
清 川 村	40	26	1		39	26		

端数調整のため、総数と内訳の計が一致していない部分があります。

イ 年次別献血数・目標数

項目	総 数		200ml		400ml		成 分	
	目標数 (人)	献血数 (人)	目標数 (人)	献血数 (人)	目標数 (人)	献血数 (人)	目標数 (人)	献血数 (人)
平成 15 年	11,532	12,986	919	954	10,613	11,980		52
平成 16 年	11,928	12,038	579	757	11,221	11,247	128	34
平成 17 年	12,027	11,744	460	1,027	11,512	10,716	55	1
平成 18 年	11,581	14,379	462	1,288	11,119	13,091		
平成 19 年	10,558	14,931	411	988	10,147	13,943		
平成 20 年	12,572	14,106	430	436	12,142	13,670		
平成 21 年	12,672	11,558	447	122	12,225	11,436		
平成 22 年	12,779	10,531	418	101	12,361	10,430		
平成 23 年	8,543	9,515	523	103	8,020	9,412		
平成 24 年	9,009	9,470	271	196	8,738	9,274		

(7) 表彰

ア 神奈川県保健衛生表彰(知事)[平成24年11月14日:神奈川県総合医療会館]

個人の部

表彰区分	氏名	職種及び所属等
医療関係功労者	後藤典彦	医師 医療法人後藤整形外科
	朴茂男	医師 医療法人紀陽会さがみ野耳鼻咽喉科
	横溝博子	看護師 医療法人福寿会愛川北部クリニック
	博多屋悦子	事務 社団法人海老名市医師会
環境衛生関係功労者	細野めぐみ	理容師 ヘアサロン メグ
食品衛生関係功労者	鈴木清	飲食店営業 株式会社シンエン
	関山光男	豆腐製造業 有限会社関山食品
地域公衆衛生活動関係功労者	牧田カナ江	食生活改善推進団体 あゆみ会

施設の部

施設名	業種	施設の所在地
湘南倉庫運送株式会社 厚木冷凍倉庫	食品の冷凍 又は冷蔵	厚木市長沼

イ 保健衛生表彰(厚木保健福祉事務所長)[平成24年11月16日:厚木市文化会館]

個人の部

表彰区分	氏名	職種及び所属等
医療関係功労者	馬嶋順子	医師 馬嶋医院
	的場清和	医師 的場内科クリニック
	丸香奈恵	医師 相模台クリニック
	戎井進	歯科医師 えびすい歯科医院
	白井潔	歯科医師 白井歯科医院
	鈴木雅彦	歯科医師 アベニューすずき歯科医院
	吉富節子	看護師 内科小児科窪田医院
	石崎昌実	臨床検査技師 座間小児科診療所
	小松恵子	看護師 厚木市立病院
	福原隆裕	事務 東名厚木病院
環境衛生関係功労者	大関和美	事務 海老名市医師会
	熊坂知也	獣医師 あい動物病院
	芦澤幸子	理容師 理容 アシザワ
食品衛生関係功労者	瀬戸伸一	美容師 トミ美容室
	瀬川清光	飲食店営業 朝日屋
	小林悦子	飲食店営業 スナック明日歌
薬事関係功労者	山本隆次	飲食店営業 そば処 仙場
	和田勝美	薬品販売業 合資会社 和田薬局
地域公衆衛生活動関係功労者	川島多希子	食生活改善推進団体 あゆみ会

優良施設

施設名	業種	施設の所在地
スナック 愛	飲食店営業	愛川町中津
有限会社 和食 橙	飲食店営業	海老名市中央
リコーサービス パーツセンター 食堂	飲食店営業 給	厚木市長沼

献血推進団体

表彰団体名	所在地
三木プーリ株式会社	座間市小松原
日本発条株式会社 厚木工場	愛川町中津

4 健康危機管理対策

(1) 鳥インフルエンザ対策

県央地域の行政機関で実施した「高病原性鳥インフルエンザ対策訓練」に参加しました。

概要 県央地域の大規模養鶏場で鳥インフルエンザが発生したことを想定した、情報受伝達、防除作業、作業員・農場従事者の健康調査等の訓練の実施

日時 7月11日(水) 9:10～16:15

場所 神奈川県総合防災センター

団体名	参加機関
国	農林水産省、陸上自衛隊第31普通科連隊、陸上自衛隊第4施設群
県	健康危機管理課、危機管理対策課、環境農政局総務課、畜産課、自然環境保全課、農業技術センター畜産技術所、湘南家畜保健衛生所、湘南家畜保健衛生所西部出張所、横浜川崎地区農政事務所、県西地域県政総合センター、湘南地域県政総合センター、県央地域県政総合センター、大和保健福祉事務所、厚木保健福祉事務所、県央教育事務所
県警	県警本部警備部危機管理対策課、厚木警察署、大和警察署、座間警察署、海老名警察署、相模原警察署、相模原南警察署、相模原北警察署、津久井警察署
市町村	相模原市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村

第6章 資料

1 保健福祉事務所の沿革	104
2 各種協議会委員一覧	107
3 地域保健推進特別事業	108
4 職員の研究・学会等発表	108

1 保健福祉事務所の沿革

(1) 沿革

ア 厚木保健福祉事務所（厚木保健所）

昭和	15年	9月	愛甲郡厚木町川田 1328 番地に開設 管轄区域は愛甲郡一円（2 町 15 村）であり、管内人口は 46,250 人（男 23,284 人、女 22,966 人）
	24年	4月	所轄区域（愛甲郡一円、座間町、海老名町、有馬村）が変更
	27年	5月	厚木町厚木 1806 番地に新築移転
	28年	10年	課制（総務課、衛生課、保健予防課）施行
	42年	6月	厚木市水引 2 - 3 - 6 に新築移転（県庁舎）
	44年	7月	総務課を管理課に課名変更
	45年	7月	次長制を設置し、保健婦係が保健婦室となりました。
	46年	6月	座間保健ステーション（座間市栗原 4989 - 1）開設
	49年	8月	衛生課が環境衛生課と食品衛生課に分かれ、4 課 1 室制となりました。
	51年	7月	環境、食品衛生課担当の技幹制を設置
	55年	4月	海老名支所（海老名市さつき町 39 の 1 番地）開設
	58年	6月	保健婦室が健康指導課となりました。
	60年	4月	座間保健ステーションを座間市に移管 保健衛生部と環境衛生部の 2 部制となりました。
	60年	5月	厚木市水引 2 - 3 - 1 に住居表示が変更
	61年	3月	試験検査室等改修及び耐震補強工事完成
	61年	4月	保健衛生部衛生検査課を設置
平成	2年	9月	開所 50 周年を迎えました。
	5年	4月	食品衛生課に食品衛生専門監視班を設置
	9年	4月	海老名支所の廃止とともに、県央地区行政センター福祉部 と統合し、厚木保健福祉事務所として設置され、管理課、 企画調整室、保健福祉部保健福祉課・保健予防課・生活福 祉課、生活衛生部環境衛生課・食品衛生課・衛生検査課の 2 部 1 室 7 課となりました。

- 15年 6月 衛生検査課が衛生研究所に組織改編され、2部1室6課となりました。
- 19年 3月 津久井保健福祉事務所の廃止により、相模原市の介護保険事業者指導等が当所の所掌事務に加わりました。
- 19年 4月 企画調整室が企画調整課と変更され、2部7課となりました。
- 20年 4月 保健福祉事務所、保健所、福祉事務所の3組織を一つの組織に整理し、名称を厚木保健福祉事務所に統一しました。

イ 愛甲福祉事務所

- 昭和 26年 10月 社会福祉事業法に基づき福祉事務所を開設
管轄区域は、愛川町、高峰村、中津村、煤ヶ谷村、宮ヶ瀬村、厚木町、南毛利村、玉川村、荻野村、小鮎村、睦合村、依知村の2町10村となりました。
- 30年 7月 行政組織改正により次長制を廃止。保護課が福祉課となる。
厚木町の市制施行町村合併により所轄区域変更（愛甲郡、高座郡、三浦郡）。また、高座愛甲福祉事務所と改名し事務所も厚木市内に移転しました。
- 42年 6月 行政組織改正により次長制度を復活し、総務課、福祉課、保護課の3課制となりました。
- 44年 7月 行政機関設置条例の一部改正により県央福祉事務所と改名、所轄区域は、葉山町、寒川町を湘南福祉事務所へ移管し、伊勢原町が当管内に移りました。
行政組織改正により、専任所長制となりました。
- 46年 3月 伊勢原町の市制施行により所轄区域から除外
- 46年 11月 海老名町及び座間町の市制施行により、所轄区域から除外
- 53年 11月 綾瀬町の市制施行により、所轄区域から除外
- 60年 4月 行政組織改正により県央地区行政センター福祉部(愛甲福祉事務所)となりました。
- 平成 5年 4月 身体障害者福祉法、老人福祉法が町村に移譲されました。
- 9年 4月 行政組織改正により、厚木保健福祉事務所(愛甲福祉事務所)となりました。
- 15年 4月 知的障害者福祉法が町村に移譲されました。
- 20年 4月 保健福祉事務所、保健所、福祉事務所の3組織を一つの組織に整理し、名称を厚木保健福祉事務所に統一しました。

(2) 厚木保健福祉事務所歴代所長

平成 9年4月～ 村上 賢二
 平成11年4月～ 堀井 昌子
 平成13年4月～ 西平 浩一
 平成16年4月～ 山徳 みゑ
 平成18年4月～ 岡部 英男
 平成23年4月～ 鈴木 仁一

(3) 施設の状況

ア 土地

	所在地	用途	面積 (m ²)	所有区分	取得年月日
厚木保健福祉事務所	厚木市水引 2-3-1	敷地	3,030.34 m ²	県有	S41.12.14

イ 建物

	名称	構造	面積 (m ²)	所有区分	取得年月日
厚木保健福祉事務所	別館	R C 2	1,292.28	県有	S42.3.31
	車庫	R C 平	97.07	"	S42.3.31
	"	"	70.80	"	S44.12.20
	倉庫	B 平	20.22	"	S47.3.10
	"	木 平	4.86	"	S54.11.20
	"	S F 平	8.02	"	H14.3.25
	ボンベ庫	B 平	2.56	"	S61.3.27
	計		1,495.81		
厚木合同庁舎	本館 4 階	R C 5	702.23	使用	H8.4.1

2 各種協議会委員一覧

(1) 県央地区保健医療福祉推進会議委員名簿(平成24年度)

分野	氏名	役職名
医師会	笹生 正人	厚木医師会長
	小林 米幸	大和市医師会長
	田中 昭太郎	海老名市医師会長
	菅原 悌三	座間綾瀬医師会長
病院	杉山 茂樹	厚木病院協会会長
	高原 和亨	大和・高座病院協会会長
歯科医師会	田中 恭三	厚木歯科医師会長
	徳永 寛司	大和歯科医師会長
	山川 晃司	海老名市歯科医師会長
	金井 雅仁	座間市歯科医師会
薬剤師会	大塚 孝明	大和綾瀬薬剤師会長
	山名 佳見	海老名市薬剤師会長
看護協会	山田谷 節子	神奈川県看護協会県央支部長
社会福祉協議会	佐藤 信雄	厚木市社会福祉協議会長
	高橋 政勝	大和市社会福祉協議会長
学校	武井 綾子	厚木愛甲地区学校保健会長
	前田 良行	大和市学校保健会長
食生活団体	山崎 弘子	なごみ会長
健康普及員団体	越後屋 比佐子	大和市健康普及員連絡協議会長
食品団体	晴山 一正	大和食品衛生協会会長
環境団体	大塚 祐二	厚木地区環境衛生協会会長
行政機関	石井 勝	厚木市市民健康部長
	金子 正美	大和市健康福祉部長
	猪熊 政喜	海老名市保健福祉部長
	柴田 浩一	座間市健康部長
	大木 保幸	綾瀬市市民こども部長
	榎本 守	愛川町民生部長
	折田 克也	清川村保健福祉課長
	菊池 正敏	厚木児童相談所長
	鈴木 仁一	厚木保健福祉事務所長
	中澤 よう子	大和保健福祉事務所長

(2) 厚木・大和保健福祉事務所感染症診査協議会結核部会委員名簿

(平成25年3月末現在)

氏名	所属等	備考
菊池 福三郎	菊池医院	医療に関する学識経験者
楠原 範之	くすはら内科クリニック	医療に関する学識経験者
山野 義光	海老名総合病院	医療に関する学識経験者
吉武 泰俊	吉武内科医院	医療に関する学識経験者
伏見 暢子	厚木人権擁護委員協議会	医療及び法律以外の学識経験者
見上 廣子	厚木人権擁護委員協議会	医療及び法律以外の学識経験者

(3) 厚木・大和保健福祉事務所感染症診査協議会感染症部会委員名簿

(平成25年3月末現在)

氏名	所属等	備考
山本 裕 康	厚木市立病院	感染症指定医療機関の医師
馬嶋 順 子	馬嶋医院	医療に関する学識経験者
楠原 範 之	くすはら内科クリニック	医療に関する学識経験者
見上 廣 子	厚木人権擁護委員協議会	医療及び法律以外の学識経験者

(4) 神奈川県介護保険審査会介護認定審査部会(第3部会)委員名簿

対象圏域：湘南西部・県央・県西圏域

(平成25年3月末現在)

氏名	職名等	備考
長谷川 嘉 春	県小田原保健福祉事務所長	
梶原 光 令	医師	
古田 玄	弁護士	

(注)「氏名」欄中の 印を付した委員は、部会の部会長

3 地域保健推進特別事業

区分	事業名	主管課	協力団体等
	該当なし		

4 職員の研究・学会等発表

演題名	発表日	研究・学会等名称	発表者
衛生監視員のスキルアップを目的としたシナリオ学習教材の検討	平成24年7月6日	平成24年度神奈川県衛生監視員等研究発表会	石川 哲也
保健予防課と連携した虫の相談事例	平成24年7月6日	平成24年度神奈川県衛生監視員等研究発表会	河井 潤子
神奈川県受動喫煙防止条例施行前後の急性心筋梗塞死亡率の変化について	平成24年10月25日	第71回 日本公衆衛生学会	鈴木 仁一
働きざかり世代のがん検診受診を促す要因と啓発方法の検討	平成24年10月25日	第71回 日本公衆衛生学会	吉澤 佳代
管内の高校生の喫煙状況について ～「平成23年度厚木保健福祉事務所管内の高校生の喫煙に関する調査」より～	平成24年11月1日	第58回 神奈川県公衆衛生学会	中村 慶子

多職種連携チームによる当所「摂食機能発達支援事業」の現状(第1報)～事業概要と支援効果等について～	平成24年 11月1日	第58回神奈川県公衆衛生学会	北原 稔
多職種連携チームによる当所「摂食機能発達支援事業」の現状(第2報)～対象児の実態と各職種の果たした役割等について～	平成24年 11月1日	第58回神奈川県公衆衛生学会	飯澤 智子
高齢者施設における結核集団発生事例への取り組み	平成24年 11月1日	第58回神奈川県公衆衛生学会	渡井 すみ子
保健福祉事務所の環境衛生課と保健予防課で連携した老年期の皮膚寄生虫妄想の相談事例(第2報)	平成24年 11月1日	第58回神奈川県公衆衛生学会	河井 潤子
医療機器装着児の地域支援 - 保健師が果たしたコーディネート機能 -	平成25年 1月14日	第1回日本公衆衛生看護学会	熊谷 有香
管内の高校生の喫煙状況について ～「平成23年度 厚木保健福祉事務所管内の高校生の喫煙に関する調査」より～	平成25年 2月1日	第34回地域保健師研究発表会	中村 慶子
摂食機能発達支援における保健師の役割に関する一考察 ～摂食機能相談を利用したケースの分析から～	平成25年 2月1日	第34回地域保健師研究発表会	熊谷 有香
養育支援事業「こども発達専門相談」の役割と保健師活動について	平成25年 2月1日	第34回地域保健師研究発表会	草薙 香菜子
大学生を中心としたHIV検査についての実態 ～大学祭を使ったアンケートの結果～(第一報)	平成25年 2月1日	第34回地域保健師研究発表会	保科 美幸
大学生を中心としたHIV検査についての実態 ～大学祭を使ったアンケートの結果～(第二報)	平成25年 2月1日	第34回地域保健師研究発表会	保科 美幸
精神保健福祉担当課と連携した虫の相談事例	平成25年 2月15日	平成24年度(第34回)全国環境衛生職員団体協議会関東ブロック会研究発表会	河井 潤子
多職種連携チームによる「摂食機能発達支援事業」について(第1報)～事業概要と支援効果等～	平成25年 3月3日	平成24年度神奈川県地域歯科医療研究会	北原 稔

多職種連携チームによる「摂食機能発達支援事業」について(第2報)～対象児の実態と各職種の果たした役割等～	平成 25 年 3 月 3 日	平成 24 年度神奈川県地域歯科医療研究会	飯澤 智子
若い世代への食生活支援体制づくりについて(第1報) ～平成 21 年度からの取り組みと展開～	平成 25 年 3 月 15 日	第 37 回 神奈川県栄養改善学会	古川 弘子
若い世代への食生活支援体制づくりについて(第2報) ～ホームページやツイッターを活用した積極的普及啓発～	平成 25 年 3 月 15 日	第 37 回神奈川県栄養改善学会	五十嵐 香織
若い世代への食生活支援体制づくりについて(第3報) ～企業と連携して行った社員食堂を健康づくりにいかす企業活動の紹介～	平成 25 年 3 月 15 日	第 37 回神奈川県栄養改善学会	久保田 律子



神奈川県

厚木保健福祉事務所

厚木市水引2-3-1

〒243-0004

電話(046)224-1111(代表)